2023年度
事業報告及び決算

自　2023年3月1日

至　2024年2月29日

公益社団法人　日本金属学会

〒980-8544　仙台市青葉区一番町一丁目14番32号

TEL 022-223-3685　FAX 022-223-6312

目　　次

■　事業報告
概要 …… 1
Ⅰ.事業の状況
1.　学術誌及び学術図書類の刊行（定款第５条第１号） …… 2
2.　学術講演会及び学術講習会の開催（定款第５条第２号） …… 4
3.　学術に関する調査及び研究（定款第５条第３号） …… 12
4.　学術に関する表彰及び奨励（定款第５条第４号） …… 20

Ⅱ.庶務の概要
1.　2022 年度事業に関する諸会議・諸集会一覧 …… 31
2.　役員等に関する事項 …… 33
3.　職員に関する事項 …… 36
4.　会議等に関する事項 …… 36
5.　各種委員会に関する事項 …… 38
6.　広報に関する事項 …… 43
7.　電子公告に関する事項 …… 43
8.　契約に関する事項 …… 43
9.　行政庁からの連絡事項および行政庁への報告事項等 …… 43
10.　その他重要事項 …… 43

■事業報告の附属明細書 …… 44

■　社員および会員の異動状況報告書
1.　社員の異動状況書 …… 45
2.　会員の異動状況書 …… 45

■　決算
1.　貸借対照表 …… 46
2.　正味財産増減計算書 …… 47
3.　正味財産増減計算書内訳表 …… 50
4.　財務諸表に対する注記 …… 53
5.　計算書類の附属明細書 …… 56
6.　財産目録 …… 57

■　監査報告
1.　監事監査報告書 …… 59
2.　公認会計士監査報告書 …… 60

2023年度事業報告

概要

2023年度の事業の概要は、次の通りである。

①2023年度は公益社団法人に移行した11年目の事業年度であり、定款に定める公益目的事業を推進した。新型コロナウィルス感染症が5類感染症に移行したことから、春・秋期講演大会の現地開催、理事会を始めとした会議や研究集会等のハイブリッド開催を含む現地開催を再開した。

②刊行事業では、会報は月平均76ページで、冊子体は4,900部を刊行するとともに、電子ジャーナルを刊行した。5件の特集記事を含め、魅力ある会報に向けた多様な記事の掲載を継続した。また、新企画としてインタビュー記事「What‘s 技術士」の掲載を開始した。会誌は月平均25ページで、オンラインジャーナルを刊行した。冊子体は290部(第87巻5・6号から270部)を発行した。掲載論文数の減少により、冊子は2号ずつ合併して偶数月に発行した。欧文誌Materials Transactionsは平均205ページで、オンラインジャーナルを刊行した。冊子体は160部(Vol. 64 No. 4から140部)を発行した。インパクトファクター向上のため、「Current Trends in Research」カテゴリー論文の掲載を継続するとともに、被引用数の多い論文の著者へのTop Cited Paper Certificateの発行を継続した。共同刊行学協会で一本化した編集システムを使用して投稿から査読・審査を実施した。理数探求用教材は、企業等に動画を依頼することとした。すべての既刊図書類の電子化を行い、一部を除いて会員に無料提供した。

③講演会・講習会事業では、2回の講演大会を開催した。春期講演大会は東京大学で開催し、講演件数629件、参加者1,117名であった。秋期講演大会は富山大学で開催し、講演件数は1,002件, 参加者数は1,560名であった。公募シンポジウムは春期4テーマ、秋期9テーマ、企画シンポジウムは春期1テーマ、秋期4テーマと活発に開催した。ポスターセッションは春期151件、秋期278件であった。高校生・高専学生ポスターセッションは春期41件、秋期10件で、いずれも現地とオンラインで開催した。また、現地で機器展示および企業の技術セミナーを開催した。さらに、学生を対象とした学生キャリアサポートセミナーを春に、企業技術セミナー、機器展示は、春、秋ともに現地で開催した。金属学会シンポジウムは1件をオンラインで開催し、オンライン教育講座5件をオンラインで実施し、3件をオンデマンド配信した。支部では昨年度より多い39件の講演会・講習会を開催した。

④調査・研究事業では、9分科で活動を実施した。10テーマの研究会と1テーマの若手研究グループが活動を行った。また、4テーマの産学協創研究会が活動を行った。第4回日本金属学会フロンティア研究助成10件を採択し、助成金を交付した。支部では22件の研究会を開催した。男女共同参画委員会では、女性会員の集いを秋期講演大会期間中に現地開催した。KIMとの交流としてKIM年次大会へ表敬訪問するとともに、KIM-JIM Symposiumを第2回国際セッションと合同開催として、日本、韓国、インド、インドネシア、中国、豪州、台湾、タイから総勢22名が参加して、秋期講演大会で開催した。JIM/TMS Young Leaderの相互派遣については、本会から前々年、前年と合わせて3名の派遣者を派遣し、TMSからの派遣者3名を春期講演大会に受け入れた。ASM Internationalとの連携事業を継続した。

⑤表彰・奨励事業では春表彰10件、秋表彰9件を授賞した。名誉員4名を推戴し、フェロー1名を認定した。各賞の贈呈式は秋表彰のみで行った。特別功労賞、増本量賞、谷川・ハリス賞、研究技能功労賞、論文賞の対象等の改訂を行った。支部でも主に若手を対象とした19件の授賞を実施した。

⑥庶務では、定時社員総会を開催し、理事会はほぼ2ヶ月ごとに開催して業務執行理事による業務執行報告を行なった。法令で定められた申請書類や定期提出書類を提出した。広報活動を推進し、講演大会参加者へのネックストラップの配付、会員へのカレンダーの送付等を行って新ロゴマークを周知した。会員へのインタビューを行ってホームページに掲載した。

⑦会計では、公益法人の財務3基準である、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額保有上限額をいずれも達成した。なお、本年度は会費収益の80%を公益目的事業に配賦した。

Ⅰ．事業の状況

1.学術誌及び学術図書類の刊行（定款第５条第１号）

1）日本金属学会会報“まてりあ”

①発行

・第62巻3号(2023年3月1日発行)から第63巻2号(2024年2月1日発行)までの12号を毎月、電子ジャーナルおよび冊子(発行部数:4,900部)で発行。
・掲載論文・記事数：120編（月平均12編）
・掲載ページ数：582ページ（月平均76ページ）

②特集等(5件)

特集　第62巻3号　「原子力材料研究の最前線」」
特集　第62巻7号　「「材料技術史から見るこれからの技術展開Ｖ～鉄～」」
特集　第62巻9号　「EV化社会に向けたパワーエレクトロニクス用軟磁性材料研究」
特集　第62巻10号　「粒界偏析における計算材料科学の最前線」
特集　第63巻1号　「ナノスケール動的挙動の理解に基づく力学特性発現機構の解明2」
新技術・新製品特集　第63巻1号　計3編

③特記事項

・魅力ある会報に向けた施策を検討し、実施した。
・「金属素描」、「金属なんでもランキング」、「はばたく」、「スポットライト」、「思い出の教科書，この1冊！」、「最近の研究」、「入門講座」「科学館めぐり」、「新進気鋭」、「談話室」、「あのころの”まてりあ”」、「美しい金属の写真」、「実学講座」、「材料ニュース」「先達からのお便り」「材料教育」「研究所紹介」といった多様な記事の掲載を継続した。
・新企画：インタビュー記事、What‘s 技術士の掲載を開始した。
・第62巻４号、8号、12号の巻頭にサイエンスライターによる読み物記事を掲載した。
・

2）日本金属学会誌

①発行

・第87巻3号(2023年3月1日発行)から第88巻2号(2024年2月1日発行)までの12号を毎月、電子ジャーナルで発行した。冊子(発行部数290部(第87巻3・4号)、270部(第87巻5・6号～))は、2号合冊して発行した。
・掲載論文・記事数：40編（月平均3.3編）
・掲載ページ数：296ページ（月平均25ページ）

②特集等

・第87巻4号「固体中の水素と材料特性V」
・第87巻5号「保磁力の学理における最近の進歩」

③特記事項

・掲載論文数の減少により、冊子を2号ずつ合併して，偶数月の1日に発行した。
・掲載論文数増加を目的として，修士課程に在籍する学生会員を対象として投稿の勧誘を行った。
・インパクトファクターは0.5であった。
・論文数増強の一環として、欧文誌に掲載された論文の著者に和訳論文の投稿を勧誘し、その際に機械翻訳Webサービスを用いた翻訳原稿の参考資料としての提供を行った。
・「研究論文の分類」の全体的な見直しを行った。

3）Materials Transactions

①発行

・Vol.64 No.3(2023年3月1日発行)からVol.65 No.2(2024年2月1日発行)までの12号を毎月、電子ジャーナルおよび冊子(発行部数160部(Vol. 64 No. 3)、140部(Vol. 64 No. 4～))で発行した。
・掲載論文・記事数：317編（月平均26編）
・掲載ページ数：2464ページ（月平均205ページ）

②特集(6件)

特集	Vol.64 No.4	「Kink-Strengthening of Mille-Feuille Structured Materials」
	Vol.64 No.6	「Creation of Materials by Superthermal Field」
	Vol.64 No.7-8	「Superfunctional Nanomaterials by Severe Plastic Deformation」
	Vol.64 No.9	「Nanostructured Functional Materials and Their Applications IV」
	Vol.64 No.9	「ISNNM 2022 - Integrated Computer-Aided Process Engineering」
	Vol.64 No.10	「Metallurgy for Advanced Catalytic Materials」

③特記事項

・Materials Transactions共同刊行編集委員会を開催した
(Web会議)　2023年5月24日、2023年8月30日、2023年11月14日、2024年2月19日
・日本チタン学会が新たに共同刊行に参加し、参加学協会が合計15学協会となった。
・Overview 36編、Review 27編を掲載した。
・特集掲載論文を引用して特集企画の内容を紹介する、もしくは論文賞・新進論文賞受賞論文を引用してその内容を紹介する「Current Trends in Research」カテゴリー論文4編を掲載した。
・インパクトファクター向上のための施策を検討し、依頼Overviewや被引用の見込まれる論文のフリーダウンロード化、投稿・審査料の追加費用によるフリーダウンロード化、和文誌掲載論文の英訳論文のフリーダウンロード化を継続するとともに、高被引用論文の公開や被引用数の多い論文の著者にTop Cited Paper Certificateを発行した。
・インパクトファクターは1.2であった。
・「研究論文の分類」の全体的な見直しを行った。

4）学術図書類

①学術図書類刊行委員会　直接会合はなし

②図書

・増刷1冊「金属化学入門シリーズ3　金属製錬工学」

5）機関誌海外送付

①日本金属学会報：　8ヶ国、29部
②日本金属学会誌：　4ヶ国、9部（2024年1・2月号）
③Materials Transactions：　5ヶ国、12部（2024年2月号）

2.　学術講演会及び学術講習会の開催（定款第５条第２号）

1）講演大会

①春期大会(第172回)

・ 3月7日に東京都立産業貿易センター「浜松町館」でポスターセッションを開催し、3月8日から3月10日の期間は東京大学駒場Iキャンパスにおいて開催した

・65歳以上の会員の参加費を無料とした。

a.参加申込者数1,117名

b.講演会場数12会場

c.講演発表

・総発表件数629件。内訳は次の通りである。

・学会賞受賞記念講演1件

・本多記念講演1件

・公募シンポジウム講演　4テーマ　75題（功績賞受賞講演2題、基調講演17題含む）

・企画シンポジウム講演　1テーマ　5題

・一般講演343題（功績賞受賞講演6題、技術賞受賞講演3題、谷川・ハリス賞受賞講演2題、増本量賞受賞講演1題、外国人招待講演1題、招待講演1題、TMSヤングリーダーscholar講演2題含む）

・ポスターセッション　150題（2部制）

・高校生ポスターセッション　40題

・日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」　15題（金属11題、鉄鋼4題）（日本鉄鋼協会会場）

「高温融体の物理化学的性質」　10題（金属3題、鉄鋼7題）（日本金属学会会場）

d.男女共同参画ランチョンミーティング

e.日本金属学会講演概要web公開　2023年2月21日発行

f.　ランチタイム学生キャリアサポートセミナー　6社

g.ランチョンセミナー　5社

h.付設機器展示　17社、カタログ展示　1社

②秋期大会(第173回)

・2023年秋期講演大会は、9月19日(火)から22日(金)の期間、とやま自遊館および富山大学五福キャンパスにおいて開催した。また、9月26日(火)にオンラインで高校生・高専学生ポスターセッションを開催した。

・65歳以上の会員の参加費を無料とした。

a.　大会参加者数1,560名

b.　講演会場数18会場

c.　講演発表

・総発表件1,002題。内訳は次の通りである。

・公募シンポジウム講演9テーマ217題（奨励賞受賞講演1題、村上記念賞受賞講演1題、基調講演50題含む）

・企画シンポジウム4テーマ　21題

・国際セッション 22題

・一般講演423題（奨励賞受賞講演5題、技術開発賞受賞講演1題、村上奨励賞受賞講演3題、招待講演2件含む）

・ポスターセッション　277題(2部制)

・高校生ポスターセッション　10題

・日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」　　18題（金属11題、鉄鋼7題）（日本金属学会会場）

「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」　　27題（金属8題、鉄鋼19題）（鉄鋼協会会場）

d. 日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会　参加者162名

e. 男女共同参画 女性会員の集い

f. 日本金属学会講演概要Web公開　　2023年9月5日公開

g. 学生キャリアサポート企業ポスター　7社

h. 企業ランチョンセミナー4社

i. 機器展示　16社

j. 託児室　延べ17名利用

③講演大会委員会　　（オンライン）2023年3月30日、2023年5月23日、（メール）2023年9月15日、（オンライン）2023年10月25日

・2023年秋期講演大会の公募シンポジウムテーマを決定した。

・2024年春期講演大会の公募シンポジウムテーマを決定した。

・2023年秋期講演大会の企画シンポジウムテーマを決定した。

・2024年春期講演大会の企画シンポジウムテーマを決定した。

・2024年秋期大会から国際セッションにインドネシアや台湾にも参加要請をし、国際シンポジウムと呼称変更することを決定した。

・高校生ポスターの今後の開催時期を決定した。

・講演大会会期を3日間化に戻すことを協議した。

④講演大会企画委員会

（メール）2023年5月15日、（オンライン）2023年7月31日、（メール）2023年11月10日、（オンライン）2024年1月31日

a. 本年度の特記事項は次の通りである。

・2023年秋期講演大会招待講演を決定した。

・2024年春期講演大会招待講演を決定した。

・相互聴講の再開について決定した。

・講演大会会期を3日間化に戻すことを決定した。

・ポスター審査方法の変更を決定した。

・ポスター賞規則改定について協議した。

b. 講演大会プログラム編成

・2023年秋期大会プログラム編成結果確認　　2023年7月31日

・2024年春期大会プログラム編成結果確認　　2024年1月31日

2）本多記念講演

①第68回本多記念講演　　2023年3月8日

・高梨　弘毅（日本原子力研究開発機構センター長、東北大学名誉教授）

②本多記念講演委員会　　（メール会議）2023年7月24日

・第69回本多記念講演講師候補者を決定した。

3）金属学会セミナー

開催しなかった

4）金属学会シンポジウム

関連分野	テーマ名	開催日	聴講者数
第 5 分野	カーボンニュートラル・水素社会実現に向けた触媒材料の研究・開発の最新動向（オンデマンド配信）	11 月 1 日(月)～11 月 16 日(木) オンデマンド配信 11 月 17 日(金)質疑応答	26名 (質疑応答:3名)

5）オンライン教育講座

関連分野	テーマ	開催日程	参加者数 参加/申込
第 7 分野	医療用金属材料の基礎	5 月 11,12 日	51/52 名
第 4 分野	弾性異方性の考え方	5 月 25,26 日 (見逃し配信済)	27/35 名
第 5 分野	金属材料の耐環境性⑵高温酸化・高温腐食の基礎－熱力学・速度論・高温強度－	6 月 6,7 日 (見逃し配信済)	28/32 名
第 6 分野	工業材料の応力・歪測定	10 月 26,27 日 (見逃し配信済)	26/28 名
第 8 分野	構造材料⑴鉄鋼材料編	12 月 7,8 日 (見逃し配信済)	25/27 名

6）公募シンポジウム（13テーマ）

①春期講演大会（4テーマ）　開催場所：東京大学駒場Iキャンパス

	テーマ	開催日	講演数
S1	ハイエントロピー合金の材料科学(IX)	2023年3月8日、9日、10日	31件（基調講演5件含）
S2	金属表面の材料化学VI―めっき・耐食性・耐酸化性・触媒研究の最前線―	2023年3月8日、9日	16 件(基調講演 4 件含)
S3	材料機能特性のアーキテクチャー構築シンポジウムIV －さまざまな拡散・輸送現象のアナロジー体系化による学理の再認識－	2023年3月8日、9日	18件（基調講演6件含）
S4	特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成III	2023年3月9日	10件（基調講演2件含）

計75件（基調講演17件含）

②秋期講演大会（9テーマ）　開催場所：富山大学五福キャンパス

	テーマ	開催日	講演数
S1	材料変形素過程のマルチスケール解析（VI）	2023年9月　21日、22日	18件（基調講演5件含）
S2	水素エネルギー材料X	2023年9月21日、22日	35件（基調講演5件含）
S3	ハイエントロピー合金の材料科学(X)	2023年9月20日、21日、22日	34件（基調講演9件含）
S4	特異反応場における時間/空間応答を利用した	2023年9月21日	15件（基調講演2件含）

	新奇材料構造創成IV		
S5	Additive Manufacturingの材料科学II：超温度場材料創成学	2023年9月20日、21日、22日	39件（基調講演8件含）
S6	機能コアの材料科学 IV	2023年9月20日、21日	34件（基調講演5件含）
S7	データ創出・活用による磁性材料の研究開発	2023年9月20日、21日	14件（基調講演7件含）
S8	極限環境対応構造材料のためのマテリアルDX（Ⅰ）	2023年9月20日、21日	27件（基調講演7件含）
S9	ワイドギャップ結晶の材料学と高温プロセッシングV	2023年9月22日	8件（基調講演2件含）

計224件（基調講演50件）

7）企画シンポジウム（5テーマ）

①春期講演大会（1テーマ）　開催場所：東京大学駒場Iキャンパス

	テーマ	開催日	講演数
K1	工業製品における材料選択とマルチマテリアル構造～自動車ボディ～	2023年3月10日	5件

計5件

②秋期講演大会（4テーマ）　開催場所：富山大学五福キャンパス

	テーマ	開催日	講演数
K1	自動車技術会・日本鉄鋼協会・日本金属学会共催 第5回自動車関連材料合同シンポジウム	2023年9月20日	9件
K2	若手科学者へ贈る研究のヒントVI～未踏領域へ到達するために～	2023年9月22日	3件
K3	中学高校生向け金属体験学習	2023年9月20日	5件
K4	国内のマテリアル戦略とインフォマティクス応用	2023年9月21日	8件

25件

8）セミナー・シンポジウム委員会

（オンライン）2023年3月31日、2023年6月20日、2023年10月19日、2024年1月30日

・2024年度および2025年度の金属学会シンポジウムおよびセミナー、オンライン教育講座の開催企画を決定した。
・オンライン教育講座、セミナー、シンポジウム、講習会の規則改定を決定した。
・オンライン教育講座講師覚書の改定を決定した。
・オンライン教育講座のオンデマンド配信について協議した。

9）支部講演会および講習会（日本鉄鋼協会等他学協会および本多記念会との共催を含む）

①北海道支部（5件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
2023年度日本鉄鋼協会･日本金属学会両北海道支部合同サマーセッション	2023年7月14日	（室蘭市）室蘭工業大学　多目的ホール	37件	62名

（日本鉄鋼協会と合同開催）				
支部主催　特別講演会	2023 年 7 月 14 日	（札幌市）北海道大学フロンティア応用科学研究棟	1 件	62 名
2023 年度日本金属学会･日本鉄鋼協会両北海道支部合同冬季講演大会 （日本鉄鋼協会と合同開催）	2024 年 1 月 18 日～19 日	（札幌市）北海道大学フロンティア応用科学研究棟	29 件	83 名
本多光太郎記念講演会	2024 年 1 月 18 日	（札幌市）北海道大学フロンティア応用科学研究棟	1 件	83 名
支部主催　特別講演会	2024 年 1 月 19 日	（札幌市）北海道大学フロンティア応用科学研究棟	1 件	83 名

②東北支部（9 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
令和4年度軽金属学会東北支部講演会およびイブニングセミナー	2023 年 3 月 6 日	ハイブリッド開催 （仙台市）東北大学工学部、オンライン	3 件	30 名
第1回東北大学材料科学世界トップレベル研究拠点（CRCMS）産学連携フォーラム	2023 年 7 月 3 日	ハイブリッド開催 （仙台市）東北大学知の館、オンライン	4 件	160 名
学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2023（第 17 回）	メインイベント：2023 年 7 月 16 日	（仙台市）東北大学川内北キャンパス講義棟	123 件	8,828 名
	AWARD 表彰式：2023 年 7 月 24 日	（仙台市）東北大学サイエンスキャンパスホール		200 名
	ｻｲｴﾝｽﾃﾞｲｵﾌﾞｻﾞｲﾔｰ表彰式：8 月 21 日	（仙台市）東北大学知の館		50 名
第 21 回夏休み子ども科学キャンパス	2023 年 8 月 3 日～8 月 4 日	（仙台市）東北大学サイエンスキャンパスホール	6 件	189 名
第 16 回秋休み子ども科学キャンパス	2023 年 10 月 10 日～10 月 11 日	（仙台市）東北大学サイエンスキャンパスホール	6 件	170 名
日本鉄鋼協会東北支部　地区講演会および若手研究者フォーラム	2023 年 11 月 28 日	（秋田市）秋田大学地方創生センター2 号館大セミナー室	4 件	27 名
2023 年度東北大学金属材料研究所共同研究ワークショップ日本バイオマテリアル学会東北ブロック交流会	2023 年 12 月 22 日	（仙台市）東北大学金属材料研究所 2 号館講堂	13 件	76 名
令和5年度日本金属学会東北地	2024 年 1 月 31 日	（弘前市）弘前大学	3 件	40 名

区講演会		50 周年記念会館		
令和 5 年度本多記念講演会	2023 年 7 月 7 日	（仙台市）東北大学金属材料研究所 2 号館講堂	1 件	96 名

③関東支部（3 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
支部学術講習会『機械学習と金属工学：最新動向と材料開発への応用』全 6 回	2023 年 10 月 19 日 2023 年 10 月 26 日 2023 年 11 月 9 日 2023 年 11 月 17 日 2023 年 11 月 24 日 2023 年 12 月 1 日	横浜国立大学 Zoom を用いたオンライン形式	1 件 1 件 1 件 1 件 1 件 1 件	23 名 23 名 23 名 23 名 23 名 28 名
支部講習会「これをマスターすれば物性計測の中級者になれる！」	2023 年 12 月 11 日	（川崎市） 島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 殿町キングスカイフロント内		15 名
本多記念講演会　『カーボンニュートラルに向けたアップグレードリサイクル　ーアルミニウムの役割と可能性ー』	2023 年 12 月 11 日	（川崎市） 島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 殿町キングスカイフロント内	1 件	18 名

④東海支部（4 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 3 月 22 日	オンライン	1 件	32 名
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 11 月 6 日	名古屋工業大学	1 件	131 名
学術討論会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 2 月 8 日	オンライン	4 件	110 名
本多記念講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 11 月 27 日	オンライン	3 件	53 名

⑤北陸信越支部（8 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 6 月 7 日	（富山市）ANA クラウンプラザホテル富山	２件	63 名
新潟地区　講演会	2023 年 12 月 5 日	（長岡市）長岡技術科学大学	1 件	33 名
石川地区特別講演会	2022 年 6 月 7 日	（金沢市）金沢大学	1 件	36 名

福井地区特別講演会	2024 年 1 月 8 日（予定）	（敦賀市）福井大学敦賀キャンパス	2 件	32 名
長野地区材料セミナー	2023 年 3 月 27 日	（長野市）信州大学	1 件	15 名
	2023 年 7 月 24 日	（長野市）すわっチャオ会議室	1 件	48 名
富山地区特別講演会 軽金属学会と合同開催	2023 年 11 月 29 日	（富山市）ANA クラウンプラザホテル富山	3 件	65 名
支部学術講演会	2023 年 12 月 2 日	（福井市）福井工業大学	114 件	149 名
本多記念講演会	2023 年 12 月 2 日	（福井市）福井工業大学	1 件	140 名

⑥関西支部（3 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料セミナー(テーマ 1) 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 10 月 19 日	SPring-8	3 件	7 名
材料セミナー(テーマ 2) 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 11 月 14 日	大阪科学技術センター	3 件	14 名
材料セミナー(テーマ 3) 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 11 月 29 日	大阪科学技術センター	2 件	7 名

⑦中国四国支部（3 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
本多記念講演会	2023 年 3 月 14 日	（岡山市）ピュアリティまきび	1 件	38 名
支部学術講演会 （日本鉄鋼協会と合同開催）	2023 年 8 月 10 日，11 日	（徳島市）徳島大学	54 件	88 名
本多記念講演会	2023 年 8 月 10 日	（徳島市）徳島大学	1 件	72 名

⑧九州支部（4 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
春季講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 3 月 15 日	オンライン	5 件	96 名
九州支部合同学術講演会 日本鉄鋼協会,軽金属学会と合同開催	2023 年 6 月 10 日	（熊本市）くまもと県民交流館パレア	94 件	189 名
秋季講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 10 月 20 日	（鹿児島市）鹿児島大学 学習交流プラザ	4 件	19 名
本多記念講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2023 年 10 月 20 日	（鹿児島市）鹿児島大学 学習交流プラザ	1 件	19 名

10）国内学協会等共催講演会

・本年度の開催なし。

11）国際会議・国際シンポジウム

・本年度の開催なし。
・ICSMA20に開催助成金を支出した。

3. 学術に関する調査及び研究（定款第５条第３号）

1）調査研究委員会活動

①調査研究委員会　（オンライン）2023年3月28日、2023年9月28日

・2024年度研究会継続申請1件を承認した。
・研究会、若手研究グループ、産学協創研究会の活動費の管理方法の変更について決定した。
・フロンティア研究助成規程および規則、第5回フロンティア研究助成応募要項の変更を決定した。

②調査研究推進委員会　（オンライン）2023年7月24日、2024年1月26日

・2024年度研究会継続申請1件の採択を決定した。
・2024年度研究会および若手研究グループ、分科活動計画ならびに活動費を承認した。
・第4回フロンティア研究助成の採択案件10件を決定した。
・フロンティア研究助成規程および規則、第5回フロンティア研究助成応募要項の変更を協議した。
・フロンティア研究助成の採択件数の変更を決定した。

2）委員会活動

①企画委員会　（オンライン）2023年3月3日、2023年7月11日、2023年9月28日

・外国会員の件、事務局職員の在宅勤務の制度化の件、男女共同参画への支援強化の件、特定資産の運用方針の見直しの件、海外派遣の旅費支給見直しの件、表彰制度見直しの件、男女共同参画への支援強化の件、選挙制度見直しの件、研究会の団体会費制度導入の件、小中高校生へのアウトリーチ活動の件を検討し、理事会に答申した。

②セルフガバナンス委員会　直接会合はなし

③戦略推進委員会　直接会合はなし

④科研費委員会　直接会合はなし

⑤男女共同参画委員会

・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会との合同委員会）
（オンライン）2023年3月29日、（富山大学）2023年9月21日
・2023年度女性会員の集いを開催した。
・2023年度活動計画を決定した。
・男女共同参画学協会連絡会の協力イベント女子中高生のための関西科学塾および女子中高生夏の学校2023に参加した。
・会員へ託児室利用アンケートを行った。
・託児室無料化について協議を行った。
・2023年春期講演大会および2023年秋期講演大会時に託児室を開設した。

⑥人材育成委員会　直接会合はなし

⑦国際学術交流委員会　直接会合はなし

・第21回World Materials Day Awardの募集を行ったが、応募がなかった。
・第15,16,17回のJIMM/TMS Young Leaderを派遣した。
・第18回JIMM/TMS Young Leader International Awardの派遣者を決定した。派遣は次年度となる。
・2023年春期講演大会へのKIM代表者の招待を行った。
・2023年KIM年次大会に会長が出席した。
・ASM Internationalとの連携事業を継続した。
・2023年秋期講演大会において第2回国際セッション（第21回KIM-JIMシンポジウムと共催）を開催した。

⑧長期展望委員会　直接会合はなし

3）研究会活動

①2023年度活動研究会（10テーマ）

研究会番号

75. キンク研究会
80. 高エネルギー環境用材料評価研究会
81. 材料機能特性のアーキテクチャー研究会
82. 微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会
83. 高温材料の変形と破壊研究会
84. ソフト磁性研究会
85. 状態図・計算熱力学研究会
86. 結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会
87. 水素が関わる材料科学の課題共有研究会
88. 高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会

②各研究会の活動概要

75. **キンク研究会**（開催1回）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
2023 年度第 1 回研究会 （軽金属研究部会 2022 年度第３回との共催）	2023 年 3 月 29 日	オンライン(Zoom)	3 件	25 名

80. **高エネルギー環境用材料評価研究会**（開催0回）

開催しなかった。

81. **材料機能特性のアーキテクチャー研究会**（開催2回）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
2023 年春期講演大会公募シンポジウム S3 材料機能特性のアーキテクチャー構築シンポジウム IV－さまざまな拡散･輸送現象のアナロジー体系化による学理の再認識－	2023 年 3 月 8 日－9 日	東大駒場Ｉｷｬﾝﾊﾟｽ	18 件	40 名～60 名
第 4 回材料機能特性のアーキテクチャー研究会	2023 年 12 月 3 日－5 日	（沖縄県国頭郡宜野座村）ﾘﾌﾞﾏｯｸｽｱﾑｽ・ｶﾝﾅﾘｿﾞｰﾄｳﾞｨﾗ	12 件	17 名

82. **微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会**（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
講演会ならびにポスター発表を行った	2023 年 8 月 27 日-28 日	北海道科学大学	口頭 6 件 ﾎﾟｽﾀｰ 14 件	36 名

83. **高温材料の変形と破壊研究会**（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
2023 年度高温材料の変形と破壊研究会	2023 年 9 月 4 日～9 月 6 日	（仙台市）ﾎﾃﾙ華乃湯	25 件	44 名

84. **ソフト磁性研究会**（開催2回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
ソフト磁性研究会幹事会	2023年7月26日	オンライン	0 件	5 名
ソフト磁性研究会幹事会	2023年8月21日	オンライン	0 件	5 名

85. **状態図・計算熱力学研究会**（開催4回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第４回研究会	2023年6月22日	オンライン	4件	99名
第６回世話人会	2023年9月21日	富山大学、K会場		5名
第５回研究会	2023年11月21日	オンライン	12件	68名
第７回世話人会	2023年11月28日	オンライン		9名

86. **結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会**（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第２回「結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会」	2023年11月28日～11月29日	（蒲郡市）ﾎﾃﾙ明山荘	14件	20名

87. **水素が関わる材料科学の課題共有研究会**（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第一回日本金属学会「水素が関わる材料科学の課題共有研究会」	2023年12月7日、8日	東工大大岡山ｷｬﾝﾊﾟｽ	36件	76名

86. **高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会**（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第１回研究会	2023年12月4日	東工大大岡山ｷｬﾝﾊﾟｽ	3件	25名

4) 若手研究グループ活動

①2023年度活動研究会（3グループ）

07 CO_2ゼロエミッション社会に向けた耐環境構造金属材料研究グループ
08　原子力エネルギー用材料研究グループ
09　非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ

②各若手研究グループの活動概要

07 CO_2ゼロエミッション社会に向けた耐環境構造金属材料研究グループ（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
溶接学会若手会委員の会との共同研究会・施設見学会	2023年10月12日	オンライン	6件	19名

08　原子力エネルギー用材料研究グループ（開催2回）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
キックオフミーティング	2023年4月26日	Zoom	―	11名
第１回研究集会	2023年6月16日	BIZcomfort水戸会議室4	10件	17名

09　非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ（開催5回）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
第 1 回研究会	2023 年 3 月 30 日	オンライン	1 件	10 名
第 2 回研究会	2023 年 5 月 24 日	オンライン	2 件	10 名
第 3 回研究会	2023 年 8 月 2 日	オンライン	3 件	10 名
第 4 回研究会	2023 年 10 月 20 日	オンライン	3 件	10 名
第 5 回研究会	2024 年 1 月 24 日	物質・材料研究機構 千現地区 先進構造材料研究棟	1 件	11 名

5）産学協創研究会

①2023年度活動研究会（4テーマ）

01 金属アディティブ・マニュファクチュアリング研究会
02 カーボンニュートラル研究会
03 新材料・新機能創成研究会
04 マテリアルズインテグレーション研究会

②各研究会の活動概要

01 金属アディティブ・マニュファクチュアリング研究会

・5回の委員会と1回の教育講座を開催した。

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
第 3 回委員会	2023 年 3 月 14 日	大阪大学 吹田ｷｬﾝﾊﾟｽ	6 件	401 名
第 4 回委員会	2023 年 6 月 27 日	大阪大学中之島センター	4 件	403 名
第 5 回委員会	2023 年 9 月 13 日	東京大学 生産技術研究所	6 件	460 名
第 6 回委員会	2023 年 11 月 28 日	大阪大学中之島センター	8 件	551 名
第 7 回委員会	2024 年 3 月 5 日	東京大学 生産技術研究所	6 件	458 名
第 1 回教育講座	2024 年 2 月 26 日	オンライン	11 件	122 名

02 カーボンニュートラル研究会

・2回の委員会を開催した。

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
委員会	2023 年 3 月 8 日	東京大学駒場Ⅰｷｬﾝﾊﾟｽ	－	10 名
委員会	2023 年 9 月 20 日	富山大学五福ｷｬﾝﾊﾟｽ	－	12 名

03 新材料・新機能創成研究会

・2回の研究会を開催した。

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第 2 回新材料･新機能創成研究会	2023 年 4 月 28 日	東北大学東京分室	2 件	15 名
第 3 回新材料･新機能創成研究会	2024 年 1 月 19 日	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	2 件	14 名

04 マテリアルズインテグレーション研究会

・マテリアルインテグレーション（Mint）システムを社会実装する産学連携プラットフォームとして新たに設立された構造材料DX-MOPと連携して、研究開発のDX化に資する活動を推進した。

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
MInt セミナーシリーズ第 13 回 「金属粉床積層造形ﾌﾟﾛｾｽ条件における CALPHAD ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ連携ﾌｪｰｽﾞﾌｨｰﾙﾄﾞ法による凝固組織予測」	2023 年 12 月 8 日	NIMS & web	1 件	37 名

6）日本金属学会フロンティア研究助成

・第4回日本金属学会フロンティア研究助成のテーマ10件を採択した。
・助成金を支給した。
・採択テーマ

01 中空シリカに内包した高耐久合金ナノ粒子触媒の開発とCO_2再資源化反応への応用
02 磁気冷却のための磁気駆動可能なNi-Mn-Ga単結晶粒子で構成される複合材料の開発
03 高温磁気特性に優れる新規ヘテロ構造希土類磁石の調製及び高磁力発現機構の解析
04 金属積層造形を利用した原子力用酸化物分散型ハイエントロピー合金の創製
05 六方晶TCP相金属間化合物の塑性変形挙動の解明
06 Mgナノ粒子を用いた触媒添加Mg水素吸蔵材料の簡易合成プロセスの開発
07 3D積層造形（Additive Manufacturing）によるチタンへの抗菌性と炎症緩和の同時付与
08 組織制御性と熱間加工性を両立させた新規TiAl基鍛造合金の開発
09 ニューラルネットワークポテンシャル法に基づく合金理論状態図の構成
10 TiAl基合金における表面変質層形成抑制元素の状態図に基づく探索

7）支部研究会等活動

①北海道支部（0 件）

・なし

②東北支部（1 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
第 22 回日本金属学会東北支部研究発表大会	2023 年 10 月 30 日	（盛岡市）岩手大学銀河ホール	5 件	34 名

③関東支部（1 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
第 20 回ヤングメタラジスト研究交流会	2023 年 11 月 8 日	（つくば市） 国立研究開発法人 物質・材料研究機構	3 件	45 名

④東海支部（3 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料フォーラム TOKAI	2023 年 11 月 6 日	（名古屋市）名古屋工業大学	63 件	131 人
技術交流フォーラム（学術討論会との共催）	2024 年 2 月 8 日	オンライン	4 件	110 名
金属材料談話会	2024 年 1 月 26 日	（名古屋市）名古屋大学	4 件	39 名

⑤北陸信越支部（2 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料研究会	2023 年 10 月 5 日	（富山市）富山大学 工学部大会議室	7 件	42 名
材料研究会	2023 年 2 月 2 日 開催予定	（富山市）富山大学 工学部大会議室	7 件	３３名 （予定）

⑥関西支部（10 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料物性工学談話会（第 1 回）	2023 年 9 月 28 日	大阪大学、材料開発物性記念館	1 件	20 名
材料物性工学談話会（第 2 回）	2023 年 10 月 6 日	大阪大学、材料開発物性記念館	1 件	16 名
材料物性工学談話会（第 3 回）	2024 年 1 月 12 日	大阪大学、材料開発物性記念館	24 件	46 名
鉄鋼プロセス研究会（第 1 回）	2023 年 10 月 17 日	日本製鉄（広畑）	1 件	24 名
鉄鋼プロセス研究会（第 2 回）	2023 年 12 月 12 日	関西大学、千里山ｷｬﾝﾊﾟｽ	24 件	52 名
マテリアルデザイン研究会	2023 年 12 月 18 日	関西大学、梅田ｷｬﾝﾊﾟｽ（WEB 開催併用）	20 件	36 名
関西分析研究会（第 1 回）	2023 年 7 月 31 日	（WEB 開催）	5 件	36 名
関西分析研究会（第 2 回）	2023 年 12 月 18 日	龍谷大学、大阪梅田ｷｬﾝﾊﾟｽ	6 件	21 名
材料化学研究会（第 1 回）	2023 年 10 月 17 日	日本製鉄（広畑）	1 件	24 名
材料化学研究会（第 2 回）	2023 年 12 月 12 日	関西大学、千里山ｷｬﾝﾊﾟｽ	24 件	52 名

⑦中国四国支部（5 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
若手フォーラム	2024 年 12 月 13 日	（岡山市）ピュアリティまきび	12 件	21 名
金属物性研究会	2023 年 12 月 14 日	（岡山市）ピュアリティまきび	6 件	20 名
若手フォーラム	2023 年 12 月 23 日	（徳島市）徳島大学	ﾎﾟｽﾀｰ 12 件	47 名
材料制御研究会	2024 年 1 月 17 日	（東広島市）広島大学ハイブリット形式	4 件	対面 35 名 オンライン 21 名 計 56 名
若手フォーラム	2024 年 2 月 10 日	（松山市）愛媛大学	講演 2 件 ﾎﾟｽﾀｰ 24 件	46 名

⑧九州支部（0 件）

・なし

8）支部見学会

①北海道支部(0件)　なし
②東北支部(0件)　なし
③関東支部(0件)　なし
④東海支部(0件)　なし

⑤北陸信越支部(1件)

行事	開催日	場所	参加者数
支部見学会	2023 年 7 月 6 日	八尾キタノ制作㈱・サンエツ金属㈱	16 名

⑥関西支部(2件)

行事	開催日	場所	参加者数
第 1 回支部見学会	2024 年 2 月 9 日	日本製鉄、尼崎熱間製管工場・尼崎冷間小径管工場	26 名
第 1 回鉄鋼プロセス研究会・材料化学研究会合同見学会	2023 年 10 月 17 日	日本製鉄（広畑)、熱延工場	24 名

⑦中国四国支部(0件)　なし

⑧九州支部(0件)　なし

9）国内学協会連携活動

①日本学術会議

・日本学術会議理学・工学系学協会連絡協議会　（オンライン）2023年3月23日、9月27日
出席した。

②日本工学会

・定時社員総会　2023年6月2日
委任状出席した。

・事務研究委員会　（オンライン）2023年4月19日、5月24日、6月14日、7月19日、10月25日
2024年2月21日
出席した。

③材料連合協議会

・材料連合協議会幹事会　本年度は開催なし

④材料戦略委員会

・材料戦略委員会　本年度は開催なし

⑤日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会

・男女共同参画委員会開催　（オンライン）2023年3月29日、(富山大学)9月21日

・第12回女性会員の集い開催　(富山大学)9月22日

10）国際学協会連携活動

①IOMMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)

・本年度は応募がなかったので授賞しなかった。

②TMSとの交流

・JIM/TMS Young Leader International Scholarの相互派遣

・3名をTMS2023に派遣した。

派遣者：小嶋 隆幸（東北大学　助教)、魏　代修（東北大学金研　助教)、今里　和樹（産業技術総合研究所　研究員）

・本会からTMS2024への派遣者を決定した。

派遣者：鈴木　飛鳥（名古屋大学　助教）

・TMSからの派遣者を本会2023年春期講演大会に受け入れた、講演を行った。　2023年3月8,9,10日

派遣者：　Michael S. Titus (Purdue University, Assistant Professor)

Stoichko Antonov (Max-Planck-Insitute fur Eisenforschung, PhD)

Damien Tourret (IMDEA Materials, Researcher)

③KIM(大韓金属・材料学会)との交流

・KIMから本会春期講演大会への表敬訪問　2023年3月8日

・第22回KIM/JIMMシンポジウム開催：JIMM主催　2023年9月21,22日

本会秋期講演大会の国際セッションと合同で開催した。KIMと本会からそれぞれ6名参加した。

・本会からKIM年次大会への表敬訪問：榎会長が代表挨拶した　韓国大邱　2023年10月26日

④ASM Internationalとの連携

・ASMコンテンツの割引購入を継続した。

⑤インド金属学会（IIM）との連携

・本会秋期講演大会国際セッションへの参加：IIMから2名参加した。　2023年9月21,22日

・IIM-ATM 2023への参加：事務局長がIIM-ATM 2023に参加した。　2023年11月21,22,23日

⑥国際セッション

・韓国、オーストラリア、中国、インド、タイ、インドネシア、台湾が参加する国際セッションを秋期講演大会において開催した。　(富山市)富山大学　2023年9月21, 22日

４.学術に関する表彰及び奨励（定款第５条第４号）

1）名誉員および各種賞受賞者一覧

賞	授賞件数	備　考
名誉員(春)	4名	
フェロー(春)	1名	
第68回学会賞(春)	1名	寄附による賞
第20回村上記念賞(秋)	1名	寄附による賞
第64回技術賞(春)	3名	
第29回増本量賞(春)	1名	寄附による賞
第62回谷川・ハリス賞(春)	2名	寄附による賞
第81回功績賞(春)	8名	学術部門7名、技術部門1名
第54回研究技能功労賞(春)	8名	寄附による賞
第20回村上奨励賞(秋)	3名	寄附による賞
第33回奨励賞(秋)	6名	学術部門5名、技術部門1名 寄附による賞
第46回技術開発賞(秋)	1件　7名	
第73回金属組織写真賞(春)	5件　28名	最優秀賞1件（5名）（第2部門1件） 優秀賞2件（7名）（第2部門1件、第3部門1件） 奨励賞2件（16名）（第2部門1件、第3部門1件）
第71回論文賞(秋)	5編　31名	物性1編（4名）、組織1編（7名）、力学特性1編（4名）、材料プロセシング1編（9名）、工業材料1編（7名）
第3回新進論文賞(秋)	6編　6名	会誌部門3編（3名）、欧文誌部門3編（3名）
第13回まてりあ賞(秋)	3編　7名	まてりあ論文賞2編（6名） まてりあ啓発・教育賞1編（1名）
第40回優秀ポスター賞(春) 第41回優秀ポスター賞(秋) 第9回高校･高専学生ポスター賞(春) 第10回高校・高専学生ポスター賞(秋)	25名 54名 24件　81名 5件　15名	各所属機関・学科で贈賞 各所属機関・学科で贈賞 日本金属学会賞2件(9名)、最優秀賞3件（13名)、優秀賞19件(59名) 日本金属学会賞1件(6名)最優秀賞3件（8名)、優秀賞1件(1名)
第31回奨学賞(春)	41名	各大学および高専の卒業時に贈呈 寄附による賞
第18回JIM Young Leader International Scholar Award	1名	1名
他機関の各種学術賞、奨励金	なし	

2）名誉員推戴

①名誉員（4名） 2023年3月8日

大阪大学特任教授、名城大学特任教授、関西大学客員教授、東北大学名誉教授　新家　光雄

東北大学参与・名誉教授　原　信義

大阪大学特任教授、新構造材料技術研究組合プロジェクトマネージャー、横浜国立大学名誉教授 福富　洋志

日本医療研究開発機構 理事長、東京工業大学名誉教授　三島　良直

3)フェロー認定

①フェロー（1名） 2023年3月8日

九州工業大学特任教授、熊本大学特任教授、佐賀大学特命教授、九州大学名誉教授　堀田　善治

3）各賞贈呈

①第68回学会賞（1名） 2023年3月8日

日本医療研究開発機構 理事長、東京工業大学名誉教授　三島　良直

②第20回村上記念賞（1名） 2023年9月20日

［相変態･析出･再結晶を用いた構造用金属材料の組織と特性の制御に関する研究］

東北大学金属材料研究所 教授　古原　忠

③第64回技術賞（3名） 2023年3月8日

［ステンレス薄板の成形技術開発］

日鉄ステンレス（株）研究センター センター長　石丸 詠一朗

［高強度鋼板の接合技術の開発と接合強度特性に関する研究］

日本製鉄（株）技術開発本部鉄鋼研究所 室長　富士本 博紀

［鉄鋼材料のX線その場観測技術と合金設計に関する研究開発］

日本製鉄（株）技術開発本部先端技術研究所 課長　米村 光治

④第29回増本量賞（1名） 2023年3月8日

［相変態と強加工を利用した機能材料の開発］

物質・材料研究機構若手国際研究センター　センター長　土谷　浩一

⑤第62回谷川・ハリス賞（2名） 2023年3月8日

［耐熱材料の組織設計指導原理の構築と実用化に関する研究］

東東京工業大学物質理工学院材料系 教授　竹山　雅夫

［構造材料の3D/4D損傷・破壊挙動とその制御に関する研究］

九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授　戸田　裕之

⑥第81回功績賞（8名） 2023年3月8日

学術部門　7名

［計算科学的手法を用いた機能性材料に関する研究］

九州大学大学院総合理工学研究院　教授飯久保　智

［合金および金属間化合物の結晶欠陥構造と塑性変形挙動の相関に関する研究］

東北大学金属材料研究所 准教授　岡本　範彦

［高精度き裂計測のための革新的超音波フェーズドアレイ映像法の開発］

東北大学大学院工学研究科 准教授　小原　良和

［交差相関に基づく界面磁気機能材料の創製に関する研究］

大阪大学大学院工学研究科　准教授　白土　優

［材料創製プロセスが生み出す組織形成を利用した合金設計に関する研究］

名古屋大学大学院工学研究科物質プロセス工学専攻 准教授　高田　尚記

［ナトリウム金属融液を用いた新規結晶育成法の開発］

東北大学金属材料研究所　准教授　森戸　春彦

［原子論的アプローチによる結晶・アモルファス金属の微視的構造と変形機構に関する研究］

物質・材料研究機構構造材料研究拠点　主任研究員　譯田　真人

技術部門　1名

［半導体用鉛フリーはんだボールの熱疲労環境下における長寿命化に関する研究］

日本製鉄（株）技術開発本部先端技術研究所　室長　寺嶋　晋一

⑦第54回研究技術功労賞（8名）　2023年3月8日

東北大学多元物質科学研究所技術室　工藤　友美
日鉄テクノロジー（株）東日本事業所開発試験部　小林　正行
日鉄ステンレス(株)研究センター試験分析室　末次　輝彦
物質・材料研究機構技術開発・共用部門　中里　浩二
福井工業大学センター管理課　中矢　明彦
（独）造幣局研究所研究開発課　藤山　晶広
（地独）北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部工業試験場　三戸　正道
JFEスチール（株）スチール研究所鋼管・鋳物研究部　山田　学

⑧第20回村上奨励賞（3名）　2023年9月20日

［熱力学に基づく新規Co系機能性形状記憶合金に関する研究］
東北大学大学院工学研究科 助教　許　畠
［耐疲労・耐水素金属材料の組織および成分設計に関する研究］
東北大学金属材料研究所 准教授　小山　元道
［希少元素を用いない高性能永久磁石材料の研究］
物質・材料研究機構磁性・スピントロニクス材料研究センター グループ リーダー　世伯理　那仁

⑨第33回奨励賞（6名）　2023年9月20日

学術部門　5名

［Mo基およびMoSiB基合金におけるTiC添加に伴う凝固組織および物性変化に関する研究］
東北大学大学院工学研究科 助教　井田　駿太郎
［ナノスケールでの金属溶解機構解明に関する研究］
東京工業大学物質理工学院 助教　大井梓
［放射光X線CT技術を駆使した高信頼性材料設計の革新］
物質・材料研究機構構造材料研究センター 主任研究員　大熊　学
［実験と計算の融合による金属材料の腐食メカニズムの解明］
物質・材料研究機構構造材料研究センター 研究員　門脇 万里子
［新奇スピン軌道材料の創製およびスピン流生成原理に関する研究］
京都大学化学研究所　特定准教授　輕部　修太郎

技術部門　1名

［Ni含有鋼の酸化スケール形成に関する研究］
日本製鉄（株）技術開発本部 主任研究員　原島　亜弥

⑩第46回技術開発賞（1件　7名）　2023年9月20日

［骨基質配向化誘導を可能としたTi 合金製脊椎固定用デバイス(UNIOS®PL スペーサー)の開発と製品化］
帝人ナカシマメディカル（株）研究部 副部長　高橋　広幸
帝人ナカシマメディカル（株）開発部 部長　井上　貴之
帝人ナカシマメディカル（株）取締役会長　中島　義雄
帝人ヘルスケア（株）社長補佐　横田 勝彦
国立病院機構北海道医療センター統括診療部 部長　伊東　学
大阪大学大学院工学研究科 准教授　松垣　あいら
大阪大学大学院工学研究科 教授　中野　貴由

⑪第73回金属組織写真賞（3件　12名）　2023年3月8日

最優秀賞　1件　5名

【第2部門】走査電子顕微鏡部門

「Ni-Co基超合金の微小疲労き裂の結晶学的な大規模3D解析」
物質・材料研究機構構構造材料研究拠点 主任研究員　西川　嗣彬
物質・材料研究機構構構造材料研究拠点 主席研究員　古谷　佳之
物質・材料研究機構構構造材料研究拠点 主幹研究員　長田　俊郎
物質・材料研究機構構構造材料研究拠点 主席研究員　川岸　京子
物質・材料研究機構構構造材料研究拠点 主席研究員　原　　徹

優秀賞　2件　7名

【第2部門】走査電子顕微鏡部門

「液中銅電析過程のその場SEM観察」
ファインセラミックスセンターナノ構造研究所 上級研究員　吉田　要

ファインセラミックスセンターナノ構造研究所 上級研究員　佐々木　祐生
ファインセラミックスセンターナノ構造研究所 主任研究員　桑原　彰秀
東京大学大学院工学系研究科総合研究機構　教授　幾原　雄一

【第3部門】透過電子顕微鏡部門

「Fe-Cr系σ相におけるZonal転位の転位芯構造観察」

京都大学大学院工学研究科材料工学専攻 准教授　岸田 恭輔
京都大学大学院工学研究科材料工学専攻 大学院生（現：JFEスチール(株)）　奥谷 将臣
京都大学大学院工学研究科材料工学専攻 教授　乾　晴行

⑫第71回論文賞（5編31名）　**2023年9月20日**

物性部門　1編（4名）

[Ultra-High Mixing Entropy Alloys with Single bcc, hcp, or fcc Structure in Co-Cr-V-Fe-X (X= Al, Ru, or Ni) Systems Designed with Structure-Dependent Mixing Entropy and Mixing Enthalpy of Constituent Binary Equiatomic Alloys] (Materials Transactions Vol.63 No.6)

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 教授　竹内　章
大学金属材料研究所 准教授　和田　武
兵庫県立大学大学院工学研究科 教授　永瀬　丈嗣
東北大学金属材料研究所 特任准教授　網谷　健児

組織部門　1編（7名）

[Preferential Dynamic Grain Growth Mechanism Enabling the Control of Microstructure and Texture by High Temperature Deformation:Experimental Evidence and Applicability] (Materials Transactions Vol.63 No.2)

新構造材料技術研究組合技術企画部 プロジェクトマネージャー/大阪大学大学院工学研究科 特任教授
福富　洋志
横浜国立大学理工学系 技術専門職員　岡安　和人
東京電機大学工学部　准教授　小貫　祐介
横浜国立大学大学院工学研究院 教授　長谷川　誠
東京工業大学物質理工学院 准教授　小林　郁夫
Technical University of Ostrava　Professor　Bohumir Strnadel
横浜国立大学大学院工学研究院 教授　梅澤　修

力学特性部門　1編（4名）

[Crack Tip Deformation during Dwell Fatigue and Its Correlation with Crack/Fracture Surface Morphologies in a Bi-Modal Ti-6Al-4V Alloy](Materials Transactions Vol.63 No.9)

九州大学 大学院生（現：日本キャタピラー）　青木　佑真
東北大学金属材料研究所 准教授　小山　元道
九州大学工学研究院 教授　田中　將己
物質・材料研究機構構造材料研究センター フェロー　津崎　兼彰

材料プロセシング部門　1編(9名)

[Fabrication of Al-Based Composite Extruded Plates Containing Cellulose Nanofibers and Their Microstructure and Mechanical Properties](Materials Transactions Vol.63 No.11)

富山大学都市デザイン学部 准教授　Seungwon Lee
富山大学 大学院生（現：G-TEKT Corp.）　渡邊　翔真
富山大学都市デザイン学部 助教　土屋　大樹
Institute of Scientific Instruments, the Czech Academy of Sciences Senior Researcher Šárka　Mikmeková
Czech Academy of Sciences　Vice President　Ilona Müllerová
富山大学学術研究部 准教授　小野　恭史
富山大学都市デザイン学部 教授　高口　豊
富山大学都市デザイン学部 シニアアドバイザー　池野　進
富山大学都市デザイン学部材料 教授　松田　健二

工業材料部門　１編(7名)

[Advanced Mg-Al-Ca Alloys with Combined Properties of High Thermal Conductivity, High Mechanical Strength and Non-Flammability](Materials Transactions Vol.63 No.2)

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター センター長/教授　河村　能人

熊本大学 学生（現　東明エンジニアリング（株））　扇　和貴
熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 助教　井上　晋一
熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 教授　木口　賢紀
熊本大学大学院先端科学研究部 教授　高藤　誠
熊本大学大学院先端科学研究部 特任教授　伊原　博隆
熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 特任教授　Donald S.Shih

⑬第3回新進論文賞（6編6名）　2023年9月20日

日本金属学会誌部門　3編(3名)

［軟X線磁気円二色性顕微分光によるNd-Fe-B熱間加工磁石の初磁化過程および減磁過程における磁区観察］（日本金属学会誌86巻1号）

東北大学 大学院生(現：大同特殊鋼(株))　○竹内 誠
東北大学 大学院生　(現：(株)プロテリアル)　蓬田 貴裕
東北大学多元物質科学研究所 准教授　菊池 伸明
大阪大学大学院工学研究科 助教　豊木 研太郎
(公財) 高輝度光科学研究センター回折散乱推進室　小林　慎太郎
(公財) 高輝度光科学研究センター分光推進室　小谷 佳範
東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授　中村 哲也
大同特殊鋼(株)技術開発研究所　日置 敬子
東北大学多元物質科学研究所 教授　岡本 聡

［6%Ni炭素鋼の摩擦攪拌接合における攪拌部の集合組織解析による流動挙動の推定］(日本金属学会誌86巻6号)

大阪大学接合科学研究所 助教　○三浦　拓也
大阪大学接合科学研究所 教授　藤井　英俊
大阪大学接合科学研究所 特任教授　潮田　浩作

［Cu微粒子の低温酸化焼結挙動］（日本金属学会誌86巻11号）

東北大学 学生　○竹内　喬亮
東北大学工学研究科 准教授　安藤　大輔
東北大学工学研究科 教授　小池　淳一
東北大学工学研究科／材料科学高等研究所 教授　須藤　祐司

Materials Transactions部門　3編(3名)

［Nanomechanical Analysis of SUS304L Stainless Steel with Bimodal Distribution in Grain Size］(Materials Transactions Vol.63 No.4)

物質・材料研究機構構造材料研究拠点　NIMS ポスドク研究員　○Viola Paul
物質・材料研究機構構造材料研究拠点　NIMS ポスドク研究員　Wang Yanxu
立命館大学理工学部 特別任用教授　飴山 惠
立命館大学グローバル・イノベーション研究機構　客員准教授　川畑 美絵
物質・材料研究機構構造材料研究拠点 センター長　大村 孝仁

［Temperature Independences of Fatigue Crack Growth in Ti -0.49mass%O］ (Materials Transactions Vol.63 No.4)

木更津工業高等専門学校電子制御工学科 准教授　○奥山　彫夢
九州大学大学院工学研究院 教授　田中　將己
九州大学大学院工学研究院 助教　森川　龍哉

［Fatigue Life Prediction of Die-Attach Joint in Power Semiconductors Subjected to Biaxial Stress by High-Speed Thermal Cycling］(Materials Transactions Vol.63 No.6)

芝浦工業大学 大学院生（現 ：(株) 日立製作所 ）　○金井　宏喜
芝浦工業大学工学部 教授　苅谷　義治
芝浦工業大学 大学院生（現 ： 三菱電機 (株)）　杉本　大成
芝浦工業大学 大学院生（現 ： 東芝デバイス＆ストレージ(株)）　阿部　慶樹
三菱電機(株)先端技術総合研究所　横山　吉典
三菱電機(株)先端技術総合研究所　越智　光樹
三菱電機(株)先端技術総合研究所　花田　隆一郎
三菱電機(株)先端技術総合研究所　曽田　真之介

⑭第11回まてりあ賞（3編7名）　2023年9月20日

まてりあ論文賞2編　6名

［先端材料開発に向けた、AI先端計測技術の多角的視点からの考察（第１回）（第２回）］（まてりあ61巻8号，9号）

日本工業大学大学院技術経営研究科 教授／大阪大学招聘教授　岡本　和也
大阪大学超高圧電子顕微鏡センター 招聘教授　杉山　昌章
名古屋大学未来材料・システム研究所 教授　武藤　俊介
成蹊大学理工学部 教授　青柳　里果
奈良先端科学技術大学院大学データ駆動型サイエンス創造センター 教授／東京工業大学 特任教授 冨谷　茂隆

［反射に加え透過でも役立つモルフォチョウの光学特性］
（まてりあ61巻8号）

大阪大学大学院工学研究科 准教授　齋藤　彰

まてりあ啓発・教育賞　1編　1名

［金属製錬反応の速度論Ⅰ ―律速段階と物質移動速度― Ⅱ ―化学反応速度― Ⅲ―無次元数とプロセス解析例― Ⅳ―プロセスシミュレーション―］（まてりあ60巻2号，3号，4号，5号）

東北大学 名誉教授　北村　信也

⑮第40回優秀ポスター賞（25名）　2023年3月8日決定

［各所属機関・学科において贈賞］

室蘭工業大学　荒木　駿佑
東京工業大学　石井　孝憲
名古屋工業大学　大澤　周平
東北大学　掛川　直樹
京都大学　加藤　宏和
東京都立大学　川瀬　輝
熊本大学　楠田かおり
茨城大学　工藤　直人
茨城大学　國本　怜遠
大阪大学　古賀　修平
熊本大学　小林　拓海
大阪大学　齊藤　光郁
東北大学　齋藤　隼輝
工学院大学　完戸　海斗
北海道大学　清　英一
早稲田大学　高橋　優輝
名古屋大学　程　悦
名古屋大学　唐　龍樹
京都工芸繊維大学　中澤　葵
北海道大学　村岡丈太朗
東北学院大学　森　裕一
大阪大学　森　陶子
株式会社デンソー　森口　七瀬
九州大学　矢野　伶
Tohoku University　Zhang　Yu

⑯第41回優秀ポスター賞（54名）　2023年9月21日決定

［各所属機関・学科において贈賞］

岩手大学　阿部　李音
東京工業大学　五十嵐　壮日子
東北大学　石村　太世
東京工業大学　泉　圭
東京工業大学　井上　ひかり
東京工業大学　江頭　亨侍
東京工業大学　王　成蹊

東京大学　大井　峻
東北大学　大金　真也
香川大学　葛西　慶久
九州大学　川名　惣一朗
東北大学　許　勝
東京大学　GONG　Shuang
東北大学　工藤　千英
大阪大学　澤泉　克彦
東京工業大学　清水　健太郎
名古屋工業大学　杉田　三佳
名古屋大学　須﨑　成央
東北大学　髙草木　寧緒
早稲田大学　高橋　幸輝
九州大学　田代　隼斗
京都大学　立入　稜也
大阪大学　田中　謙次
東北大学　谷川　由果
北海道大学　富田　駿介
名古屋工業大学　中村　周平
東京大学　西尾　健人
大阪大学　二斗蒔田　達也
岩手大学　畠山　将人
東北学院大学　畑中　辰汰朗
早稲田大学　羽富　圭祐
茨城大学　馬場　可奈
信州大学　原　弥仁
弘前大学　坂東　航
芝浦工業大学　福士　英里香
東北大学　BLANCHARD Clara
名古屋大学　細江　信吾
大阪大学　細田　昌希
大阪大学　堀尾　尚平
茨城大学　真家　拓海
富山大学　前田　健二朗
日本原子力研究開発機構　毛　文奇
九州大学　松尾　啓史
名古屋大学　三品　海渡
名古屋大学　村上　賢太
東北学院大学　山内　達寛
名古屋大学　山田　将広
京都工芸繊維大学　山村　彩乃
名古屋工業大学　山本　和輝
京都大学　横田　一樹
熊本大学　吉岡　徹郎
同志社大学　吉澄　大雅
大阪大学　Yangen　Li
北海道大学　林　學毅

⑰9回高校・高専学生ポスター賞（日本金属学会長賞2件、最優秀賞3件、優秀賞19件）

2023年3月16日決定

高校生ポスター日本金属学会長賞（2 件）

1. 外部磁力の強度によって磁性流体のスパイクの形状はどのように変化するのか
兵庫県立姫路東高等学校　志村実咲、菅原 楓、陰山麻愉、松田理沙、川勝和哉（指導教員）
2. The research for Rust　～Catalytic action of Titanium dioxide～

岡山県立津山高等学校　飯綱音羽、日下沙羅、長尾麻愛、西原果穂、寄本詩織、篠山優也（指導教員）

高校生ポスター最優秀賞（3 件）

1. 耐熱鋼溶接継手におけるクリープ変形中の局所ひずみ分布
リンデンホールスクール中高学部　石橋怜輝、九州大学 光原昌寿（指導教員）

2. 白金箔の触媒作用の研究
宮城県仙台第三高等学校　佐藤弘清、吉田雄祐、齋藤駿明、西脇 孝、野田優成、菅原佑介（指導教員）

3. オイラー円盤の重心位置の移動による回転時間の変化
岡山県立津山高等学校　後安竜之介、川端陽人、内田新大、黒田直幹、池内聖悟、津田拓郎（指導教員）

高校生ポスター優秀賞(19 件)

1. 機械学習によるフェライト組織の自動判定
新居浜工業高等専門学校　大下明子、久保津羽咲、加藤 茂（指導教員）、當代光陽（指導教員）

2. Ru 錯体化学発光法によるポリビニールアルコールの検出法の開発
岡山県立岡山一宮高等学校　安東美藍、岡 菜々子、坂口神威、田中崇登、山本恕子、狩屋一輝（指導教員）

3. ビスマス結晶の反応性　第三報
北海道旭川西高等学校　堀 百々香、大田原光綺、石丸高志（指導教員）

4. 断熱材の構造による防音効果の変化)
千葉県立佐倉高等学校 帖地 玲奈、田中百花、大和地伸雄（指導教員）

5. タンタルコンデンサからタンタル焼結体を熱分解によって回収する際の添加物による影響と効果(HSP15)
東京都立科学技術高等学校　清水梨穏、森田直之（指導教員）

6. 災害時のスマート発電機の製作を目指して
宮崎県立宮崎北高等学校　郡司颯武、白尾勇太、福島大志、松木菜南、河野健太（指導教員）

7. 野球バットのしなりの解析
岡山県立津山高等学校　水杉晴紀、須江雄大、寺元宏輔、水島遼平、山根雄大、津田拓郎（指導教員）

8. ほこりセンサを用いた桜島の降灰濃度測定器
鹿児島県立国分高等学校　川崎拓真、児玉健登、上口知優、河野裕一郎（指導教員）

9. ボルタ電池の放電後，電解液が黄色になる２！？
鹿児島県立国分高等学校　大小田拓生、中村鈴菜、吉村有結、岡村香佳、山口真日斗、河野裕一郎（指導教員）

10. 河川・湖沼中のリン濃度測定器の開発 2
鹿児島県立国分高等学校　石崎嵯弥、伊地知夢乃、水元あおい、松岡恵佑、迫田悠希、河野裕一郎（指導教員）

11. 調理時に鉄が溶出しやすい条件とは)
大阪府立千里高等学校　川合咲穂、西澤淳夫（指導教員）

12. 銅とビスマスの合金の合成と性質および組成分析
滝高等学校　棚瀬大和、細川敢大、伊藤恵人也、金児 求（指導教員）

13. 金属霧の発生原因およびその構造について
愛知県立旭丘高等学校　田中嵩人、髙江 純平、三神 京、成田英宏（指導教員）

14. 電池型スズ樹の形状の分析とその応用
東京都立小石川中等教育学校　石田俐瑠、加藤優太（指導教員）

15. カイロを変えろ！！
山口県立下関西高等学校　初田実優、河野 華、中村公美子、井上凛太朗、岡村和孝、松石空也、小池充洋（指導教員）

16. 灰を用いた重金属処理と金属の再利用
静岡市立高等学校　石塚健大、沼田一晴、石月大稀、篠原優月、小池智也（指導教員）

17. 水酸化鉄（Ⅲ）コロイド生成におけるガラス着色の研究

宮城県仙台第三高等学校　工藤優之介、菅原佑介（指導教員）

18. 食品残渣の有効可能性を探る

東京都立小石川中等教育学校　山田咲貴、木村泰彦（指導教員）

19. 水溶液中でハロゲン化物イオンがアルミニウムに及ぼす影響について

福岡県立福岡高等学校　中島光和大、水野太陽、松隈旬祐、金 一豪、甲斐隆之介、　栗下由貴（指導教員）

⑱第10回高校・高専学生ポスター賞（日本金属学会会長賞1件、最優秀賞3件 優秀賞1件）

2023年10月2日決定

高校生ポスター日本金属学会長賞（1件）

1. イチゴによるアルミニウムの溶解(2)

兵庫県立宝塚北高等学校　山脇佳奈　藤井妃奈乃　田中 楓　金古雄大　川口　拓真　上田悠人　浅原素紀（指導教員）

高校生ポスター最優秀賞（3件）

1. レーザー照射に伴う Co-Cr 合金の凝固組織形成過程

嘉穂高等学校 福本 泉　九州大学 近藤謙太郎　藤原 陸　森下浩平（指導教員）

2. 金属イオンの吸着効果を高めるポリグルタミン酸の架橋構造について

滋賀県立虎姫高等学校　安達柚葉　小川 藍　藤井乃瑠　藤澤めばえ　堀　浩治（指導教員）

3. 煮色着色をする前に金属を大根おろしにつける理由の考察

東京都立日比谷高等学校　依田明理　加戸百合（指導教員）

高校生ポスター優秀賞(1件)

1. 醤油粕と α 化米を用いた食器素材作成

中央大学附属中学校・高等学校　竹村知夏　元山 敬太（指導教員）

⑲第31回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞（41名）

2023年3月、各大学および高専の卒業時に各機関において贈賞

北海道大学工学部　芦澤　来虹
金沢工業大学工学部　安達　勇人
大阪大学工学部　新井　太一
九州工業大学工学部　飯塚　璃子
東京工業大学物質理工学院　井上　ひかり
豊橋技術科学大学工学部　岩本　和樹
岩手大学理工学部　梅山　大輝
九州大学工学部　浦中　智貴
関西大学化学生命工学部　江口　渓亮
東北大学工学部　大室　和也
茨城大学工学部　小野寺　一真
東北大学工学部　掛川　直樹
近畿大学理工学部　梶　尚生
京都大学工学部　片山　智貴
千葉工業大学工学部　川上　晴生
横浜国立大学理工学部　川名　亮平
群馬大学理工学部　坂口　裕樹
東北大学工学部　佐藤　銀音
熊本大学工学部　神野　俊介
早稲田大学基幹理工学部　神場　宗治
名古屋大学工学部　須﨑　成央
芝浦工業大学工学部　高橋　浩輝
北海道大学工学部　武部　志帆
大阪大学工学部　田中　謙次
東京大学工学部　谷　知典
大阪府立大学工学域　谷本　裕貴
愛媛大学工学部　長岡　秀英

東京理科大学先進工学部　長岡　竜之輔
名古屋工業大学工学部　長屋　亘輝
東京大学工学部　橋本　充規
東海大学工学部　布瀬　小枝
香川大学創造工学部　前田　季里
京都大学工学部　松尾　優
長岡技術科学大学工学部　宮島　涼太
秋田大学理工学部　村上　知優
九州大学工学部　森松　歩未
島根大学総合理工学部　森本　憲諒
富山大学都市デザイン学部　矢口　槙之佑
兵庫県立大学工学部　家根　弘夢
名古屋大学工学部　吉田　颯稀
東京工業大学物質理工学院　渡會　亮太

⑳第18回JIM Young Leader International Scholar Award（1名）　2023年8月8日決定
名古屋大学大学院　助教　鈴木　飛鳥

4)特記事項

・今年度は春授賞、秋授賞ともに贈呈式を行った。
・論文賞規程の推薦フォームの推薦理由の項目を改訂した。
・各賞の、推薦フォームにおいて英語入力も可とすることを認めるように、各賞の規程を改訂した。
・増本量賞と谷川・ハリス賞を両賞の受賞候補者となる可能性が生じた場合、受賞候補者協議の委員会までに、本人にどちらの受賞を希望するかを確認した上で受賞候補者を協議できるように増本量賞規程および谷川・ハリス賞規程を改訂した。
・研究技能功労賞の受賞者数が支部の正員数に応じた数になるよう制限を設けるため研究技能功労賞規程および規則を改訂した。
・貢献賞を新設するとともに規程および規則を制定した。

5)支部表彰事業

①北海道支部（2 件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
奨励賞	2023 年 7 月 14 日	（室蘭市）室蘭工業大学	3 名
奨励賞	2023 年 1 月 19 日	（札幌市）北海道大学	3 名

②東北支部(4 件)

表彰名	開催日	場所	受賞者数
未来の金属博士賞	2023 年 7 月 24 日	（仙台市）東北大学	1 名
最優秀ポスター賞	2023 年 10 月 30 日	（盛岡市）岩手大学	1 名
優秀ポスター賞	2023 年 10 月 30 日	（盛岡市）岩手大学	7 名
ポスター奨励賞	2023 年 10 月 30 日	（盛岡市）岩手大学	9 名

③関東支部（1 件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
第 20 回 ヤングメタラジスト研究 交流会 最優秀賞ポスター賞 優秀ポスター賞	2023 年 11 月 8 日	（つくば市） 国立研究開発法人 物質・材料研究機構	 1 名 4 名

④東海支部（2 件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀ポスター賞	2023 年 11 月 6 日	（名古屋市）名古屋工業大学	10 名
支部功績・功労・奨励賞	2023 年 12 月 5 日	（名古屋市）名古屋大学	6 名

⑤北陸信越支部(2 件)

表彰名	開催日	場所	受賞者数
支部功績賞	2023 年 12 月 2 日	（福井市）福井工業大学	1 名
優秀学生表彰	2023 年 12 月 2 日	（福井市）福井工業大学	5 名

⑥関西支部(3 件)

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀学生表彰（材料物性工学談話会）	2024 年 1 月 12 日	大阪大学、材料開発物性記念館	5 名
優秀学生表彰（鉄鋼プロセス研究会・材料化学研究会）	2023 年 12 月 12 日	関西大学、千里山キャンパス	7 名
優秀学生表彰（関西分析研究会）	2023 年 7 月 31 日 2023 年 12 月 18 日	（WEB 開催） 龍谷大学、大阪梅田キャンパス	2 名

⑦中国四国支部(1 件)

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀学生表彰	2023 年 12 月 13 日	（岡山市）ピュアリティまきび	6 名

⑧九州支部(4 件)

表彰名	開催日	場所	受賞者数
支部長賞	2023 年 3 月 20 日	久留米高専、福岡工業大学へ郵送	4 名
合同学術講演会 口頭発表　最優秀賞	2023 年 6 月 10 日	（熊本市）パレア	1 名
合同学術講演会 口頭発表　優秀賞	2023 年 6 月 10 日	（熊本市）パレア	16 名
合同学術講演会 英語口頭発表　優秀賞	2023 年 6 月 10 日	（熊本市）パレア	1 名

Ⅱ．庶務の概要

１.2023年度事業に関する諸会議・諸集会一覧

（直接会合およびWeb会議のみ記載）

会　議	開催回数	議長、委員長
社員総会	1	中野　貴由
理事会	7	榎　学
監事監査	1	須齋　京太
企画委員会	3	榎　学
会報編集委員会	6	田中　秀明
会誌編集委員会	6	佐藤　英一
欧文誌編集委員会	6	堀田　善治
学術図書類刊行委員会	0	枝川　圭一
講演大会委員会	4	林　重成
講演大会企画委員会	4	林　重成
本多記念講演委員会	1	林　重成
セミナー・シンポジウム委員会	4	及川　勝成
調査研究委員会	2	木村　好里
調査研究推進委員会	2	木村　好里
国際学術交流委員会	1	河村　能人
名誉員検討委員会	1	吉永　直樹
各種賞検討委員会	6	小山　敏幸
学会賞選考委員会	1	榎　学
技術賞選考委員会	1	小山　敏幸
技術開発賞選考委員会	1	小山　敏幸
金属組織写真賞選考委員会	1	小山　敏幸
研究技能功労賞選考委員会	1	小山　敏幸
功績賞選考委員会	1	小山　敏幸
奨励賞選考委員会	1	小山　敏幸
谷川・ハリス賞選考委員会	1	小山　敏幸
フェロー選考委員会	1	榎　学
増本量賞選考委員会	1	小山　敏幸
まてりあ賞選考委員会	1	小山　敏幸
村上記念賞選考委員会	1	小山　敏幸
村上奨励賞選考委員会	1	小山　敏幸
優秀ポスター賞選考委員会	2	林　重成
論文賞選考委員会	1	小山　敏幸
新進論文賞選考委員会	1	小山　敏幸
特別功労賞選考委員会	1	小山　敏幸
戦略推進委員会	0	木村　好里
科研費委員会	0	木村　好里
人材育成委員会	0	中野　貴由
男女共同参画委員会	2	上田　正人
セルフガバナンス委員会	0	榎　学

長期展望委員会	0	杉本　諭
広報委員会	2	宮本　吾郎
他学協会連携の会議	開催回数	本会代表等
材料連合協議会	0	―
Materials Transactions共同刊行編集委員会	4	堀田　善治
材料戦略委員会	0	―
材料戦略企画委員会	0	―
日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会	2	上田　正人

支部活動一覧

支　部	所在地	支部長	支部諸会議*	講演会・講習会(本多光太郎記念講演会含む)	研究会	見学会	表彰
北海道	札幌	上田　幹人	8	5	0	0	2
東北	仙台	福山　博之	1	9	1	0	4
関東	東京	藤居　俊之	1	3	1	0	1
東海	名古屋	上岡　悟史	4	4	3	0	2
北陸信越	富山	武田　雅敏	5	8	2	1	2
関西	大阪	宇都宮　裕	3	3	10	2	3
中国四国	広島	岡田　達也	1	3	5	0	1
九州	熊本	河村　能人	3	4	0	0	4
計			26	39	22	3	19

*支部会議、支部委員会等

2. 役員等に関する事項

1） 役員(2024年2月29日現在)

職名	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	勤務先
理事	非常勤	枝川　圭一	2023年4月21日	刊行事業	なし	東京大学生産技術研究所
理事	非常勤	榎　　学	2023年4月21日	会長	なし	東京大学大学院工学系研究科
理事	非常勤	及川　勝成	2023年4月21日	講演会・講習会事業	なし	東北大学大学院工学研究科
理事	非常勤	大野　宗一	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	北海道大学大学院工学研究院
理事	非常勤	加藤　秀実	2023年4月21日	会計	なし	東北大学金属材料研究所
理事	非常勤	茅野　林造	2023年4月21日	庶務	なし	㈱日本製鋼所新事業推進本部
理事	非常勤	河村　能人	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	熊本大学先進マグネシウム国際研究センター
理事	非常勤	木村　好里	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	東京工業大学物質理工学院
理事	非常勤	兒島　洋一	2023年4月21日	庶務	なし	㈱UACJ R&Dセンター
理事	非常勤	小山　敏幸	2023年4月21日	表彰・奨励事業	なし	名古屋大学大学院工学研究科
理事	非常勤	高村　仁	2023年4月21日	庶務	なし	東北大学大学院工学研究科
理事	非常勤	中野　貴由	2023年4月21日	庶務，調査・研究事業	なし	大阪大学大学院工学研究科
理事	非常勤	長滝　康伸	2023年4月21日	庶務	なし	JFEスチール㈱スチール研究所
理事	非常勤	波多　聰	2023年4月21日	庶務	なし	九州大学大学院総合理工学研究院
理事	非常勤	林　　重成	2023年4月21日	講演会・講習会事業	なし	北海道大学大学院工学研究院
理事	非常勤	松田　健二	2023年4月21日	表彰・奨励事業	なし	富山大学学術研究部
理事	非常勤	松本　洋明	2023年4月21日	庶務	なし	香川大学創造工学部
理事	非常勤	安田　秀幸	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	京都大学大学院工学研究科
理事	非常勤	安田　弘行	2023年4月21日	講演会・講習会事業	なし	大阪大学大学院工学研究科
理事	非常勤	吉永　直樹	2023年4月21日	表彰・奨励事業	なし	日本製鉄㈱技術開発本部
専務理事	常勤	山村　英明	2023年4月21日	庶務，会計，刊行事業	なし	日本金属学会
監事	非常勤	後藤　光宏	2023年4月21日		なし	住友電気工業㈱アドバンストマテリアル研究所
監事	非常勤	正橋　直哉	2023年4月21日		なし	東北大学金属材料研究所

2)代議員

代議員総数 84 名(2023 年 2 月 29 日時点)

北海道地区 3 名

1 大野　宗一　北海道大学大学院工学研究院教授
2 橋本　直幸　北海道大学大学院工学研究院教授
3 林　重成　北海道大学大学院工学研究院教授

東北地区 7 名

1 及川　勝成　東北大学大学院工学研究科教授
2 加藤　秀実　東北大学金属材料研究所教授
3 亀岡　聡　東北大学多元物質科学研究所教授
4 齋藤　嘉一　秋田大学大学院理工学研究科教授
5 高村　仁　東北大学大学院工学研究科教授
6 野村 直之　東北大学大学院工学研究科教授
7 平塚　貞人　岩手大学理工学部物理・材料理工学科教授

関東地区 31 名

1 石橋　良　㈱日立製作所研究開発グループ主任研究員
2 伊藤　公久　早稲田大学理工学術院基幹理工学部 教授
3 韋　富高　日本冶金工業㈱技術研究所部長
4 上路　林太郎　物質・材料研究機構構造材料研究拠点主幹研究員
5 枝川　圭一　東京大学生産技術研究所第 1 部教授
6 榎　学　東京大学大学院工学系研究科教授
7 大村　朋彦　日本製鉄㈱技術開発本部主席研究員
8 長田　俊郎　物質・材料研究機構構造材料研究拠点主幹研究員
9 梶谷　敏之　日本製鉄㈱技術開発本部部長
10 苅谷　義治　芝浦工業大学工学部教授
11 北薗　幸一　東京都立大学システムデザイン学部教授
12 木村　好里　東京工業大学物質理工学院教授
13 小山　和也　千葉工業大学工学部教授
14 佐藤　成男　茨城大学大学院理工学研究科教授
15 重里　元一　日本製鉄㈱鉄鋼研究所部長
16 柴田　曉伸　物質・材料研究機構構造材料研究拠点グループリーダー
17 多田　英司　東京工業大学物質理工学院教授
18 田村　隆治　東京理科大学先進工学部教授
19 土屋由美子　東芝エネルギーシステム㈱エネルギーシステム技術開発センターエキスパート
20 堤　祐介　物質・材料研究機構構造材料研究拠点主席研究員
21 寺前　俊哉　㈱プロテリアルグローバル技術革新センター技師長
22 仲道　治郎　JFE スチール㈱スチール研究所部長
23 野田　和彦　芝浦工業大学工学部教授
24 林　幸　東京工業大学物質理工学院教授
25 平田　秋彦　早稲田大学大学院基幹理工学研究科教授
26 廣澤　渉一　横浜国立大学大学院工学研究院教授
27 松野　泰也　千葉大学大学院融合理工学府教授
28 宮澤　靖幸　東海大学工学部機械工学科教授
29 遊佐　覚　㈱IHI 技術基盤センター材料・構造グループ主幹
30 横田　毅　JFE スチール㈱薄板セクター部主任部員（部長）
31 吉田　英弘　東京大学大学院工学系研究科教授

東海地区 9 名

1 東　昌史　日本製鉄㈱技術開発本部室長
2 井手　信介　JFE スチール㈱スチール研究所グループリーダー
3 小山　敏幸　名古屋大学大学院工学研究科教授
4 嶋　睦宏　岐阜大学工学部教授
5 戸高　義一　豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
6 濱田　典彦　愛知製鋼㈱開発本部主査
7 前嶋　貴士　㈱豊田中央研究所データ駆動型プロセス研究領域主任研究員
8 松本　章宏　産業技術総合研究所磁性粉末冶金研究センター主任研究員
9 渡辺　義見　名古屋工業大学物理工学科教授

北陸信越地区 5 名

1 大鳥　範和　新潟大学理学部教授
2 榊　和彦　信州大学学術研究院（工学系）教授
3 福元　謙一　福井大学附属国際原子力工学研究所教授
4 松田　健二　富山大学学術研究部教授
5 渡邊　千尋　金沢大学理工研究域教授

関西地区 15 名

1 岸田　恭輔　京都大学大学院工学研究科准教授
2 佐野　恭司　福田金属箔粉興業㈱技術本部副部長
3 瀧川　順庸　大阪府立大学大学院工学研究科教授
4 鳥塚　史郎　兵庫県立大学大学院工学研究科教授
5 仲井　正昭　近畿大学理工学部教授
6 中野　貴由　大阪大学大学院工学研究科教授
7 西山　佳孝　日本製鉄㈱技術開発本部部長
8 春名　匠　関西大学化学生命工学部教授
9 藤原　弘　立命館大学理工学部教授
10 村上　俊夫　㈱神戸製鋼所技術開発本部室長

11 安田　秀幸　京都大学大学院工学研究科教授
12 安田　弘行　大阪大学大学院工学研究科教授
13 山本　正敏　山陽特殊製鋼㈱粉末事業部事業部長
14 山本　隆一　三菱重工業㈱総合研究所製造研究部主席研究員
15 横田　明善　㈱島津製作所分析計測事業部課長

中国四国地区 5 名

1 岡田　達也　徳島大学大学院社会産業理工学研究部機械科学系教授
2 陳　中春　鳥取大学大学院工学研究科教授
3 濱田　純一　日鉄ステンレス㈱研究センター室長（部長）
4 松木　一弘　広島大学大学院　先進理工系科学研究科機械工学プログラム教授
5 松本　洋明　香川大学創造工学部先端材料科学領域教授

九州地区 5 名

1 河村　能人　熊本大学先進マグネシウム国際研究センターセンター長・教授
2 高須登実男　九州工業大学大学院工学研究院教授
3 波多　聰　九州大学大学院総合理工学研究院教授
4 宮原　広郁　九州大学大学院工学研究院教授
5 村上　恭和　九州大学大学院工学研究院主幹教授

本部枠 4 名

茅野　林造　㈱日本製鋼所新事業推進本部副本部長
兒島　洋一　㈱UACJ R&D センター副所長
長滝　康伸　JFE スチール㈱スチール研究所研究技監
吉永　直樹　日本製鉄㈱フェロー

3. 職員に関する事項

職　名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	平成26年4月1日	総括、調査・研究事業	
次長	常勤	令和5年4月1日	総括補佐、調査・研究事業、刊行事業	
主任	常勤	平成5年4月1日	表彰・奨励事業、総務、刊行事業	
主任	常勤	平成4年4月20日	刊行事業	
副主任	常勤	平成3年7月1日	経理、会員サービス	
主任	常勤	平成10年4月1日	講演会・講習会事業、調査・研究事業	
副主任	常勤	平成29年10月1日	刊行事業	
職員	常勤	令和3年11月1日	講演会・講習会事業	令和5年4月退職

4. 会議等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	開催地	主な協議事項	会議の結果
955	2023年4月6日	東京およびweb	2022年度事業報告決定の件、事務局職員の在宅勤務の制度化の件、2022年度決算書類決定の件、オンライン教育講座講師謝礼およびセミナー・シンポジウムに関する世話人謝礼の改訂の件、秋授賞選考委員決定の件	全会一致で承認
956	2023年4月21日	東京およびweb	2023,2024 年度の代表理事の選定の件、2023,2024 年度の副会長の選定の件、役員の他の公益法人の役員の兼業届の承認の件、2023,2024 年度の副会長の会長代行順位の決定の件、2023,2024 年度の業務執行理事の業務分担の決定の件、2023,2024 年度の任意の合議機関の委員長、副委員長の決定の件、任意の合議機関の構成員選任の件、2023年度の理事会および主な関連会合日程の件	全会一致で承認
957	2023年6月1日	東京およびweb	入会承認の件、支部長・支部委員交代、支部委員追加の件、谷川熱技術振興会 令和5 年度粉生熱技術振興賞候補者推薦の件、日本金属学会誌投稿規程の改訂の件、Materials Transactions投稿規程の改訂の件、秋の各種賞受賞者決定の件、第69回学会賞候補者決定の件、第69回学会賞選考委員決定の件	全会一致で承認
958	2023年8月8日	東京およびweb	広報委員会委員選任の件、入会承認の件、事務局職員採用の件、旅費支給規程改訂の件、資金運用規程制定および細則ならびに関連規程改訂の件、第69 回本多記念講演講師決定の件、第4 回日本金属学会フロンティア研究助成採択決定の件、第18回JIM/TMS Young Leader International Scholar Programの本会派遣者決定の件、IIMとの交流の件、2024年春授賞の選考委員の決定の件、第69回学会賞授賞者決定の件	全会一致で承認
959	2023年10月5日	東京	入会承認の件、第64 回（令和5 年度）東レ科学技術賞	全会一致で

		および web	候補者推薦の件、会誌・欧文誌謝金規程改訂の件、外国会員の定義の見直しの件、(産学連携)材料横断基礎研究会(仮称)の団体会費制度導入の件、表彰制度の見直しの件、選挙制度見直しの件、フロンティア研究助成規程改訂の件、名誉員推戴者決定の件	承認
960	2023年12月6日	東京および web	2024 年度事業計画の基本方針決定の件、入会承認の件、永年会員承認の件、謝金規程改訂の件、会報編集委員交代の件、会誌・欧文誌投稿規程改訂の件、春期授賞者及び授賞作品の決定、特別功労賞選考委員協議の件、表彰制度の見直しの件、フェロー選考委員決定の件	全会一致で承認
961	2023年2月5日	東京および web	2024 年度事業計画書決定の件、2024 年度収支予算書決定の件、2024 年度専務理事候補者の件、2023 事業年度に関する定時社員総会招集の件、入会承認の件、共同利用・共同研究拠点中間評価に関する支持書提出の件、講演大会委員会委員交代の件、2024 年度継続更新研究会決定の件、調査研究委員会委員交代の件、貢献賞規程制定の件、研究技能功労賞規程改訂の件、第7回フェロー認定者決定の件	全会一致で承認

②社員総会

開催年月日	開催地	報告および協議事項	会議の結果
2023年4月21日	東京および web	1. 2022年度事業報告および事業報告の附属明細書の報告の件	
		2. 2022年度決算の承認の件	満場一致で承認
		3. 2023, 2024年度代議員選任の承認の件	満場一致で承認
		4. 2023, 2024年度理事および補欠理事一括選任の承認の件	満場一致で承認
		5. 2023, 2024年度理事の選任の件	満場一致で承認
		6. 2023, 2024年度監事の選任の件	満場一致で承認
		7. 定款改訂の件	満場一致で承認

③監事監査

開催年月日	開催地	主な監査事項	会議の結果
2023年4月4日	仙台	2022年度の業務および財産の状況についての監査	全会一致で承認

5. 各種委員会に関する事項

1）本会

①企画委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月27日	web	事務局職員の在宅勤務の制度化の件 外国会員の件、男女共同参画への支援強化の件	全会一致で承認 継続審議
2023年7月11日	web	特定資産の運用方針の見直しの件、海外派遣の旅費支給見直しの件 外国会員の件、表彰制度見直しの件、男女共同参画への支援強化の件、選挙制度見直しの件	全会一致で承認 継続審議
2023年9月28日	web	外国会員の件、表彰制度見直しの件、選挙制度見直しの件、研究会の団体会費制度導入の件、小中高校生へのアウトリーチ活動の件	全会一致で承認

②会報編集委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月31日	web	第62巻 第5号、6号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画採択、巻頭企画テーマ、編集年間計画と企画担当、2023 年4 月～2025 年3 月期 会報編集委員会方針	全会一致で承認
2023年5月29日	web	第62巻7号,8号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画の決定、第13 回まてりあ賞の候補論文および記事の決定、インタビュー記事の掲載、英語による執筆、企画担当	全会一致で承認
2023年7月25日	web	第62巻9号,10号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画、新企画「技術士の紹介記事」、企画記事の担当委員、書評掲載	全会一致で承認
2023年9月20日	web	第62巻11号,12号掲載記事、執筆依頼採択、企画編集状況、巻頭企画と本文記事の関連掲載、書評依頼	全会一致で承認
2023年11月30日	web	2024 年度事業計画・編集方針、第63巻1号,2号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画、企画編集状況の確認、新企画名称「技術士記事（仮称)」、会員自身（共著可）による出版案内の会告掲載、書評依頼	全会一致で承認
2023年1月25日	web	第63巻3号,4号掲載記事、執筆依頼採択、講義ノート・入門講座 の執筆者推薦、分野特集企画決定、企画編集進捗、書評依頼	全会一致で承認

③会誌編集委員会・欧文誌編集委員会合同編集委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月31日	web	論文賞規則の改訂、多重投稿を防止するための論文作成のガイドラインの改訂、執筆要領の改訂およびテンプレートの追加、欧文誌海外編集委員の改選、会誌特集企画の依頼状況 分野分類keywordの改訂、欧文誌日本チタン学会の共同刊行参加	全会一致で承認 継続審議
2023年5月17日	web	論文賞規則の改訂、多重投稿を防止するための論文作成のガイドラインの改訂、分野分類keywordの改訂、執筆要	全会一致で承認

		領の改訂、欧文誌日本チタン学会の共同刊行参加、掲載論文の著者への被引用数の通知	
2023年7月28日	web	IF 2022、投稿規程・執筆要領等のWeb 掲載における体裁改善、依頼オーバービューのページ数の上限	全会一致で承認
2022年9月25日	web	論文賞・新進論文賞の規則改訂、編集委員の改選、速報論文・Rapid Publicationの審査期間短縮、本会フェローへの投稿勧誘、会誌2024 年の冊子発行数、修士学生会員への会誌投稿勧誘、会誌特集企画・レビュー／オーバービューの執筆依頼、会誌オーバービューの新規提案 「依頼オーバービューのページ数の上限	全会一致で承認 継続審議
2022年11月30日	東京	オーバービュー・レビューのページ数の上限緩和に伴う投稿規程およびwaive 適用内規の改訂、速報論文・Rapid Publication の査読の謝金、編集委員長の選任、引用文献リストに関する執筆要領の改訂、本会Web サイトの改修、欧文誌特集企画の新規提案、会誌特集企画・レビュー／オーバービューの執筆依頼 編集委員の改選	全会一致で承認 継続審議
2024年1月23日	web	編集委員の改選、引用文献リストに関するフォーマットの改訂、欧文誌特集企画の新規提案、欧文誌Top Cited Certificate、欧文誌Best Reviewer Certificate、会誌特集企画・レビュー／オーバービューの執筆依頼	全会一致で承認

④学術図書類刊行委員会

開催なし

⑤講演大会委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月30日	web	2023 年秋期講演大会公募シンポジウム決定、2023 年秋期講演大会企画シンポジウム決定、高校生ポスター開催日程、講演大会のハイブリッド開催	全会一致で承認
2023年5月23日	web	2024年春期大会以降の会期スケジュール変更および講演大会委員会開催方針、高校生ポスターオンライン・講演大会会期前／会期中の講演大会委員会開催日程	全会一致で承認
2023年9月15日	mail	2024年春期講演大会公募シンポジウム決定、2024年春期講演大会企画シンポジウム決定	全会一致で承認
2023年10月25日	web	国際セッションおよびKIM-JIM Symposium、2024年秋期講演大会の開催日程	全会一致で承認

⑥講演大会企画委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年5月15日	mail	2023年秋期講演大会招待講演の件	全会一致で承認
2023年7月31日	web	日本鉄鋼協会との相互聴講 春期講演大会での開催校教員の負荷軽減	全会一致で承認 継続審議
2023年11月10日	mail	2024年春期講演大会招待講演者	全会一致で承認
2024年1月31日	web	第5分野幹事交代、講演大会の3日間化、 ポスター賞選考方法の変更とポスター賞規則改定	全会一致で承認 継続審議

⑦本多記念講演委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年7月24日	mail	第69回本多記念講演講師最終候補者および次点者の決定	全会一致で承認

⑧セミナー・シンポジウム委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月31日	web	オンライン教育講座のオンデマンド配信、オンライン教育講座講師謝金および各種世話人の謝礼金額変更	全会一致で承認
2023年6月20日	web	オンライン教育講座の講演スライド・配布資料のガイドライン、オンライン教育講座アーカイブ 次年度以降のオンライン教育講座開催企画	全会一致で承認 継続審議
2023年10月19日	web	次年度以降のオンライン教育講座開催企画、2023年開催オンライン教育講座のオンデマンド配信、オンライン教育講座の参加費割引適用期間	全会一致で承認
2024年1月30日	web	1.2024年度セミナー(特別講座)企画提案、次年度以降のオンライン教育講座開催企画、オンライン教育講座の講師覚書期間、オンライン教育講座の事前収録の場合の動画 オンライン教育講座の学生参加費、オンライン教育講座の維持員会社社員の参加費、英語による講演会実施	全会一致で承認 継続審議

⑨調査研究委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月28日	web	研究会、若手研究グループ、産学協創研究会の活動費の管理方法の変更	全会一致で承認
2023年9月28日	web	2024年度継続更新研究会申請、フロンティア研究助成規程及び規則の改訂並びに第5回応募要項	全会一致で承認

⑩調査研究推進委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年7月24日	web	第4回フロンティア研究助成の採択、フロンティア研究助成規程及び規則の改訂並びに第5回応募要項、フロンティア研究助成の採択件数改定	全会一致で承認
2024年1月26日	web	第5分科幹事交代、2024年度研究会の採択、2024年度分科活動計画書兼予算書承認、2024年度若手研究グループの活動計画書兼予算書承認、	全会一致で承認

⑪国際学術交流委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年7月6日	mail	第18回JIM/TMS Young Leader派遣候補者決定	全会一致で承認

⑫名誉員検討委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年10月6日	東京 & web	名誉員候補者の協議、2024年度推戴の名誉員候補者の決定	全会一致で承認

⑬各種賞検討委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年4月6日	東京 & web	2023年秋賞の候補者・候補論文及び選考委員の決定 論文賞規則の改訂	全会一致で承認 継続審議
2023年6月1日	東京 &	2023年秋期受賞者候補者および受賞候補論文・記事の決	全会一致で承認

	web	定、論文賞規則の改訂	
2023年8月8日	東京 & web	2024年春賞候補者および選考委員の決定、各賞推薦書の英語による入力	全会一致で承認
2023年10月5日	東京 & web	推薦書の英語入力を認めることに伴う規則改訂、増本量賞および谷川・ハリス賞規則改訂	全会一致で承認
2023年12月6日	東京 & web	2024年春賞の受賞候補者および受賞候補作品の決定 研究技能功労賞規則の改訂	全会一致で承認 継続審議
2024年2月6日	東京 & web	貢献賞規程および規則の制定、研究技能功労賞規程および規則の改訂	全会一致で承認

⑭学会賞選考委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年7月14日	mail	第69回学会賞授賞者の決定	全会一致で承認

⑮優秀ポスター賞選考委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月8日	web	第40回優秀ポスター賞選考	全会一致で承認
2023年9月21日	web	第41回優秀ポスター賞選考	全会一致で承認

⑯人材育成委員会

開催なし

⑰セルフガバナンス委員会

開催なし

⑱科研費委員会

開催なし

⑲長期展望委員会

開催なし

⑳広報委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年11月27日	web	今期の活動内容案	継続審議
2024年1月29日	web	今期活動におけるサブグループ体制の構築、サブグループの活動内容	全会一致で承認

2）他学協会連携

①Materials Transactions共同刊行編集委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年5月24日	web	「研究論文の分類」Keywords 追加、プレプリントサーバーの件、執筆要領の改訂、掲載論文の著者への被引用数の通知、日本チタン学会の共同刊行参加	全会一致で承認
2023年8月30日	web	投稿規程・執筆要領等のWeb 掲載における体裁改善、依頼オーバービューのページ数の上限、明らかにOut of scope である内容の論文の取り扱い	継続協議
2023年11月14日	web	投稿規程・執筆要領等のWeb 掲載における体裁改善、依頼オーバービューのページ数の上限、明らかにOut of scope である内容の論文の取り扱い カスケードジャーナル刊行、引用文献に題目を記載する件、大学とエルゼビアとの転換契約に関する件	全会一致で承認 継続協議

2024年2月19日	web	引用文献に題目を記載する件、依頼オーバービューのページ数の上限に関する改定案、Top Cited Certificate、Best Reviewer Certificate 会員特典として、Materials Transactions の購読権を付与	全会一致で承認 継続協議

②材料戦略委員会

開催なし

③材料戦略企画委員会

開催なし

④日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2023年3月29日	web	2022年度決算および2023年度予算、第12回女性会員の集い(2023年秋大会)の分担	全会一致で承認
2023年9月21日	富山	2024年度活動計画案、第14回ランチョンミーティング実施について 託児室アンケート結果に基づく改善点、託児室無料化	全会一致で承認 継続協議

6. 広報に関する事項

①広報委員会　（オンライン）2023年11月27日、2024年1月29日

・具体的アクションプランの検討としてサブグループ体制の構築とサブグループの活動内容の議論を進めた。

7. 電子公告に関する事項

2023年5月30日　　2022年度事業報告・決算書

8. 契約に関する事項

覚書等は除く

契約年月日	契約相手先	契約の概要
2023年9月29日	古川直磨公認会計士事務所	監査契約
2024年2月13日	株式会社ミロク情報サービス	複合機リース契約
2024年2月15日	株式会社ﾘｸﾙｰﾄｽﾀｯﾌｨﾝｸﾞ	派遣個別契約
2024年2月21日	株式会社ﾘｸﾙｰﾄｽﾀｯﾌｨﾝｸﾞ	基本契約

9. 行政庁からの連絡事項および行政庁への報告事項等

なし

＊公益認定委員会だよりの発行連絡および定期提出書類の提出案内および提出等を除く。

10. その他重要事項

①登記に関する事項

2023年5月25日　　代表理事、理事および監事変更登記

②行政庁への届出事項

なし

11. 特記事項

なし

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」は次のとおりである。
理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他一般法人の業務の適正を確保するために必要なものとして法務省令で定める体制の整備に関する補足重要事項のうち、本会は定款、細則および規程の制定および改廃ならびに任意の合議機関の新設および改廃を記載する。

（１）規程の制定および改廃

１）庶務関係

①日本金属学会細則改訂　2023 年 8 月 8 日　第 958 回理事会決議

２）会計関係

①謝金規程改訂　2023 年 4 月 6 日　第 955 回理事会決議
②旅費規程改訂　2023 年 8 月 8 日　第 958 回理事会決議
③資金運用規程制定　2023 年 8 月 8 日　第 958 回理事会決議
④刊行事業拡充賛助寄付規程改訂　2023 年 8 月 8 日　第 958 回理事会決議
⑤各資金規程改訂　2023 年 8 月 8 日　第 958 回理事会決議
⑥各寄付賞規程改訂　2023 年 8 月 8 日　第 958 回理事会決議
⑦謝金規程改訂　2023 年 10 月 5 日　第 959 回理事会決議
⑧謝金規程改訂　2023 年 12 月 6 日　第 960 回理事会決議

３）事業共通

なし

４）刊行事業関係

①日本金属学会誌投稿規程改訂　2023 年 6 月 1 日　第 957 回理事会決議
②Materials Transactions 投稿規程改訂　2023 年 6 月 1 日　第 957 回理事会決議
③日本金属学会誌投稿規程改訂　2023 年 12 月 6 日　第 960 回理事会決議
④Materials Transactions 投稿規程改訂　2023 年 12 月 6 日　第 960 回理事会決議

５）講演会・講習会事業関係

なし

６）調査・研究事業関係

①フロンティア研究助成規程改訂　2023 年 10 月 5 日　第 959 回理事会決議

７）表彰・奨励事業関係

①貢献賞規程改訂　2024 年 2 月 5 日　第 961 回理事会決議
②研究技能功労賞規程改訂　2024 年 2 月 5 日　第 961 回理事会決議

８）支部関係

なし

９）事務局関係

①職員就業規程改訂　2023 年 4 月 6 日　第 955 回理事会決議
②パートタイム職員就業規程改訂　2023 年 4 月 6 日　第 955 回理事会決議

（２）任意の合議機関の新設および改廃

なし

社員および会員の異動状況報告書

1. 社員の異動状況書

2024 年 2 月 29 日現在

社　員	社　員　数		増減数	摘要
	本年度末 2024 年 2 月 29 日現在	前年度末 2023 年 2 月 28 日現在		
社員(代議員)	84	95	−11	

2. 会員の異動状況書

2024 年 2 月 29 日現在

会員種別		員　数		増減数	摘要
		本年度末 2024 年 2 月 29 日現在	前年度末 2023 年 2 月 28 日現在		
正員	正　員	3,117	3,162	−45	
	永年会員	261	255	6	
	シニア会員	134	125	9	
	終身会員	19	13	6	
	小　計	3,531	3,555	−24	
学　生　員		737	687	50	
ユ　ー　ス会員		53	27	26	
外　国　会　員		242	245	−3	
名　誉　員		42	40	2	
個人会員合計		4,605	4,554	51	
維持員(団体)		152	158	−6	

地区別正員数

2024 年 2 月 29 日現在

北海道	東 北	関 東	東 海	北陸信越	関 西	中国四国	九 州	合 計
91	299	1,216	340	180	584	214	193	3,117

新名誉員　4 名（2023 年 3 月推戴）

新家　光雄　　原　信義　　福富　洋志　　三島　良直

新永年会員　19 名

大沢　基明　　小賀　正樹　　粉川　博之
小倉　慧　　早乙女康典　　佐藤　昭規
高橋　知司　　高林　純一　　高松　彰
田中　泰彦　　津田　大　　中村　久三
日野　光兀　　福永　俊晴　　間渕　博
峯村　哲郎　　森本　立男　　山村　力
吉成　修

貸　借　対　照　表

2024年2月29日現在

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ.資産の部			
1.流動資産			
現金預金	75,778,652	77,655,985	-1,877,333
未収会費	2,913,164	3,093,331	-180,167
未収金	2,333,809	2,909,842	-576,033
貸倒引当金	-157,402	-180,087	22,685
前払金	440,000	1,369,737	-929,737
棚卸資産	4,869,243	4,827,586	41,657
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	86,177,466	89,676,394	-3,498,928
2.固定資産			
(1)特定資産			
退職給付引当資産	85,822,366	82,492,734	3,329,632
減価償却引当資産	11,831,594	9,918,133	1,913,461
刊行事業資金	305,000,000	305,000,000	0
刊行事業拡充賛助寄付資金	128,700,000	128,650,000	50,000
講演会・講習会事業資金	306,500,000	306,500,000	0
国際会議開催準備資金	3,000,000	6,500,000	-3,500,000
調査・研究事業資金	262,187,760	269,959,118	-7,771,358
調査・研究事業拡充資金	85,000,000	85,000,000	0
国際学術交流資金	98,947,140	102,000,000	-3,052,860
表彰・奨励事業資金	50,000,000	50,000,000	0
学会賞資金	11,465,105	11,510,000	-44,895
研究技能功労賞資金	6,790,490	7,000,000	-209,510
奨励賞・奨学賞等資金	52,518,465	54,000,000	-1,481,535
谷川・ハリス賞資金	14,551,050	15,000,000	-448,950
増本量賞資金	33,952,450	35,000,000	-1,047,550
村上賞資金	103,599,000	103,974,686	-375,686
特定資産合計	1,559,865,420	1,572,504,671	-12,639,251
(2)その他固定資産			
什器備品	2,363,849	2,249,306	114,543
減価償却累計額	-1,503,727	-1,112,278	-391,449
リース　什器備品	4,665,624	4,665,624	0
減価償却累計額	-3,996,840	-3,237,936	-758,904
小計　什器備品	7,029,473	6,914,930	114,543
減価償却累計額	-5,500,567	-4,350,214	-1,150,353
ソフトウエア	16,477,560	14,823,160	1,654,400
減価償却累計額	-10,273,634	-8,751,622	-1,522,012
リース　ソフトウエア	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
小計　ソフトウエア	16,477,560	14,823,160	1,654,400
減価償却累計額	-10,273,634	-8,751,622	-1,522,012
商標権	162,700	162,700	0
減価償却累計額	-108,466	-54,233	-54,233
小計　商標権	162,700	162,700	0
減価償却累計額	-108,466	-54,233	-54,233
電話加入権	50,300	50,300	0
敷　金	2,400,000	2,400,000	0
その他固定資産合計	10,237,366	11,195,021	-957,655
固定資産合計	1,570,102,786	1,583,699,692	-13,596,906
資産合計	1,656,280,252	1,673,376,086	-17,095,834
Ⅱ.負債の部			
1.流動負債			
未払金	2,699,853	2,094,197	605,656
前受金	39,869,769	39,728,167	141,602
預り金	5,415,729	4,298,429	1,117,300
リース債務	219,984	758,904	-538,920
その他流動負債	0	0	0
流動負債合計	48,205,335	46,879,697	1,325,638
2.固定負債			
リース債務	448,800	668,784	-219,984
退職給付引当金	85,822,366	82,492,734	3,329,632
固定負債合計	86,271,166	83,161,518	3,109,648
負債合計	134,476,501	130,041,215	4,435,286
Ⅲ.正味財産の部			
1.指定正味財産	440,523,700	447,134,686	-6,610,986
寄付金	440,523,700	447,134,686	-6,610,986
(うち特定資産への充当額)	(440,523,700)	(447,134,686)	(-6,610,986)
2.一般正味財産	1,081,280,051	1,096,200,185	-14,920,134
一般正味財産	1,081,280,051	1,096,200,185	-14,920,134
(うち特定資産への充当額)	(1,033,519,354)	(1,042,877,251)	(-9,357,897)
正味財産合計	1,521,803,751	1,543,334,871	-21,531,120
負債及び正味財産合計	1,656,280,252	1,673,376,086	-17,095,834

公益社団法人 日本金属学会

正 味 財 産 増 減 計 算 書

2023年3月1日から2024年2月29日まで

(単位：円)

科　目	当年度	前年度	増　減	備　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
特定資産運用益	**19,939,701**	**25,092,309**	**-5,152,608**	
特定資産受取利息	**19,939,701**	**25,092,309**	**-5,152,608**	
退職給付引当資産	690,336	690,807	-471	
減価償却引当資産	0	86	-86	
刊行事業資金	6,390,000	6,390,035	-35	
刊行事業拡充賛助寄付資金	0	733	-733	
講演会・講習会事業資金	5,990,000	5,990,054	-54	
調査・研究事業資金	4,057,730	5,290,464	-1,232,734	国債資金満期解約
国際学術交流資金	41,080	1,734,000	-1,692,920	国債資金満期解約
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	210,604	235,500	-24,896	
研究技能功労賞資金	2,819	119,000	-116,181	
奨励賞・奨学賞等資金	20,026	841,590	-821,564	
谷川・ハリス賞資金	6,041	255,000	-248,959	
増本量賞資金	14,096	595,000	-580,904	国債資金満期解約
村上賞資金	1,466,969	1,900,040	-433,071	
受取入会金	**102,000**	**84,000**	**18,000**	
受取入会金	102,000	84,000	18,000	
受取会費	**63,853,456**	**64,467,191**	**-613,735**	
正員受取会費	31,088,016	31,232,087	-144,071	
学生員受取会費	3,465,540	3,483,871	-18,331	
維持員受取会費	28,150,000	28,625,000	-475,000	
外国会員受取会費	1,149,900	1,126,233	23,667	
事業収益	**88,875,932**	**83,302,528**	**5,573,404**	
刊行事業収益	**52,051,688**	**47,970,706**	**4,080,982**	
会報購読費収益	1,807,010	1,731,132	75,878	
会誌購読費収益	4,056,614	3,992,310	64,304	
欧文誌購読費収益	7,852,500	8,961,208	-1,108,708	購読者数減
会報別刷等収益	3,471,930	3,023,840	448,090	
会誌別刷・審査収益	482,000	464,970	17,030	
欧文誌別刷・審査収益	26,574,370	22,124,658	4,449,712	投稿者数増
刊行事業広告収益	4,058,560	4,319,480	-260,920	
単行本収益	2,827,344	2,870,453	-43,109	
著作権料収益	921,360	482,655	438,705	
講演会・講習会事業収益	**34,391,603**	**34,224,821**	**166,782**	
講演大会参加費収益	23,059,000	22,855,000	204,000	
講演概要集収益	366,000	396,000	-30,000	
講演大会懇親会参加費収益	747,000	478,209	268,791	
金属学会シンポジウム参加費収益	371,000	776,000	-405,000	シンポジウム開催減
金属学会シンポジウム予稿集収益	1,480	5,960	-4,480	
セミナー参加費収益	4,792,000	6,150,000	-1,358,000	セミナー開催減
講演会・講習会事業広告収益	3,479,746	2,110,733	1,369,013	講演大会広告増
講演会・講習会事業委託収益	368,619	150,000	218,619	
支部講演会・講習会事業収益	1,206,758	1,302,919	-96,161	
調査・研究事業収益	**2,254,441**	**735,201**	**1,519,240**	
調査・研究事業収益	2,254,441	735,201	1,519,240	研究集会参加費収益増
支部調査・研究事業収益	0	0	0	
表彰・奨励事業収益	**178,200**	**371,800**	**-193,600**	
審査・投稿料収益	178,200	371,800	-193,600	
受取助成金等	**6,877,477**	**1,224,000**	**5,653,477**	
受取助成金	6,877,477	0	6,877,477	秋期講演大会助成金ほか
受取地方公共団体助成金	0	1,224,000	-1,224,000	
雑収益	**98,892**	**37,382**	**61,510**	
受取利息	2,816	1,979	837	
雑収益	96,076	35,285	60,791	
支部受取利息・雑収益	0	118	-118	
経常収益計	**179,747,458**	**174,207,410**	**5,540,048**	

科　目	当年度	前年度	増　減	備　考
(2)経常費用				
事業費	**173,545,488**	**156,751,951**	**16,793,537**	
刊行事業費	**80,311,488**	77,475,098	**2,836,390**	
給料手当	25,973,999	25,111,066	862,933	職員数増
退職給付費用	1,712,952	1,785,070	−72,118	
福利厚生費	4,252,717	4,261,666	−8,949	
会報刊行費	33,952,306	34,089,990	−137,684	
会誌刊行費	1,816,639	1,705,774	110,865	
欧文誌刊行費	11,662,734	9,830,795	1,831,939	掲載数増
学術図書類刊行費	940,141	690,737	249,404	
講演会・講習会事業費	**55,676,496**	**45,687,117**	**9,989,379**	
給料手当	15,584,399	15,066,640	517,759	職員数増
退職給付費用	1,027,771	1,071,042	−43,271	
福利厚生費	2,551,630	2,556,999	−5,369	
講演大会開催費	28,017,193	21,270,410	6,746,783	秋期大会現地開催費増
講演大会懇親会費	851,478	847,954	3,524	
本多記念講演開催費	83,352	64,640	18,712	
金属学会シンポジウム開催費	174,732	452,328	−277,596	
セミナー開催費	1,392,671	987,873	404,798	
国際会議開催費	3,507,500	172,940	3,334,560	ICSMA20助成金
支部講演会・講習会開催費	2,485,770	3,196,291	−710,521	
調査・研究事業費	**29,281,324**	**25,161,445**	**4,119,879**	
給料手当	2,597,400	2,511,107	86,293	
退職給付費用	171,295	178,507	−7,212	
福利厚生費	425,272	426,166	−894	
関連団体連携事業費	103,000	103,000	0	
日本工学会費	129,686	100,540	29,146	
材料戦略委員会費	2,500	2,500	0	
科研費委員会費	2,500	2,500	0	
人材育成委員会費	10,000	10,000	0	
男女共同参画委員会費	58,577	113,832	−55,255	
調査・研究委員会費	2,839,913	2,472,663	367,250	
研究会費	3,811,223	1,690,703	2,120,520	研究会集会増
研究助成費	15,000,500	15,000,500	0	
企画委員会費	5,000	5,000	0	
セルフガバナンス委員会費	2,500	2,500	0	
国際学術交流委員会費	4,121,958	1,616,396	2,505,562	TMSへの渡航費(前年度派遣者の繰越含む)
支部調査・研究事業費	0	925,531	−925,531	
表彰・奨励事業費	**7,717,051**	**7,906,744**	**−189,693**	
給料手当	2,597,400	2,511,107	86,293	
退職給付費用	171,295	178,507	−7,212	
福利厚生費	425,272	426,166	−894	
名誉員費	3,500	338,670	−335,170	
各種賞検討委員会費	1,159,503	988,965	170,538	
学会賞費	715,800	542,550	173,250	
学術貢献賞費	3,500	3,500	0	
学術功労賞費	3,500	3,500	0	
技術賞費	100,850	124,500	−23,650	
技術開発賞費	53,800	31,507	22,293	
金属組織写真賞費	82,876	112,537	−29,661	
研究技能功労賞費	330,650	436,000	−105,350	
功績賞費	263,100	154,750	108,350	
功労賞費	3,500	3,500	0	
奨励賞・奨学賞等費	372,360	524,502	−152,142	
谷川・ハリス賞費	68,400	64,000	4,400	
増本量賞費	207,500	207,500	0	
まてりあ賞	3,500	3,500	0	
村上賞費	912,500	1,013,700	−101,200	
論文賞費	216,800	76,319	140,481	
フェロー費	19,100	2,500	16,600	
支部表彰・奨励事業費	2,345	158,964	−156,619	
貸倒引当損	**559,129**	**521,547**	**37,582**	
管理費	**17,656,140**	**16,040,992**	**1,615,148**	
給料手当	5,194,798	5,022,212	172,586	
退職給付費用	342,590	357,014	−14,424	

科　目	当年度	前年度	増　減	備　考
福利厚生費	850,542	852,333	-1,791	
会議費	125,459	537,634	-412,175	
旅費交通費	2,234,036	873,380	1,360,656	理事会等現地出席費増
通信運搬費	992,789	804,749	188,040	
減価償却費	272,660	218,589	54,071	
消耗什器備品費	476,365	270,722	205,643	
消耗品費	19,930	16,544	3,386	
修繕費	2,826	0	2,826	
印刷製本費	697,525	468,550	228,975	
光熱水料費	61,854	40,684	21,170	
賃借料	528,000	528,000	0	
保険料	7,942	12,130	-4,188	
諸謝金	20,046	20,046	0	
租税公課	3,091,500	2,732,000	359,500	
送金手数料	231,579	166,597	64,982	
賞状・賞牌・副賞費	0	445,482	-445,482	
支払負担金	45,000	36,200	8,800	
システム管理費	707,774	568,642	139,132	
委託費	1,606,755	1,592,124	14,631	
貸倒引当損	71,150	72,047	-897	
雑費	75,020	405,313	-330,293	
経常費用計	**191,201,628**	**172,792,943**	**18,408,685**	
評価損益等調整前経常増減額	**-11,454,170**	**1,414,467**	**-12,868,637**	
特定資産評価損益等	**-3,465,964**	**0**	**-3,465,964**	
当期経常増減額	**-14,920,134**	**1,414,467**	**-16,334,601**	

2.経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	**0**	**0**	**0**	
(2)経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	**0**	**0**	0	
当期経常外増減額	**0**	**0**	**0**	
当期一般正味財産増減額	**-14,920,134**	**1,414,467**	**-16,334,601**	
一般正味財産期首残高	**1,096,200,185**	**1,094,785,718**	**1,414,467**	
一般正味財産期末残高	**1,081,280,051**	**1,096,200,185**	**-14,920,134**	
Ⅱ.指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,494,832	1,900,040	-405,208	
未経過償還差額金の償却額	173,635	30,380	143,255	
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0	
一般正味財産への振替額	1,494,832	1,900,040	-405,208	
特定資産評価損益等	-6,834,621	0	-6,834,621	
当期指定正味財産増減額	**-6,610,986**	**80,380**	**-6,691,366**	
指定正味財産期首残高	**447,134,686**	**447,054,306**	**80,380**	
指定正味財産期末残高	**440,523,700**	**447,134,686**	**-6,610,986**	
Ⅲ.正味財産期末残高	**1,521,803,751**	**1,543,334,871**	**-21,531,120**	

(注)1. 小科目の対前年度比較30%超かつ50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。
2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

正味財産増減計算書内訳表

2023年3月1日から2024年2月29日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	刊行事業	講演会・講習会事業	調査・研究事業	表彰・奨励事業	共通	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
1.経常増減の部									
(1)経常収益									
特定資産運用益	6,390,000	5,990,000	4,098,810	2,770,555	621,303	19,870,668	69,033	0	19,939,701
特定資産受取利息	6,390,000	5,990,000	4,098,810	2,770,555	621,303	19,870,668	69,033	0	19,939,701
受取入会金	0	0	0	102,000	0	102,000	0	0	102,000
受取入会金	0	0	0	102,000	0	102,000	0	0	102,000
受取会費	0	0	0	0	51,082,765	51,082,765	12,770,691	0	63,853,456
正員受取会費	0	0	0	0	24,870,413	24,870,413	6,217,603	0	31,088,016
学生員受取会費	0	0	0	0	2,772,432	2,772,432	693,108	0	3,465,540
維持員受取会費	0	0	0	0	22,520,000	22,520,000	5,630,000	0	28,150,000
外国会員受取会費	0	0	0	0	919,920	919,920	229,980	0	1,149,900
事業収益	52,051,688	34,391,603	2,254,441	178,200	0	88,875,932	0	0	88,875,932
刊行事業収益	52,051,688	0	0	0	0	52,051,688	0	0	52,051,688
講演会・講習会事業収益	0	34,391,603	0	0	0	34,391,603	0	0	34,391,603
調査・研究事業収益	0	0	2,254,441	0	0	2,254,441	0	0	2,254,441
表彰・奨励事業収益	0	0	0	178,200	0	178,200	0	0	178,200
受取助成金等	0	6,877,477	0	0	0	6,877,477	0	0	6,877,477
受取助成金	0	6,877,477	0	0	0	6,877,477	0	0	6,877,477
雑収益	0	0	0	0	98,892	98,892	0	0	98,892
受取利息	0	0	0	0	2,816	2,816	0	0	2,816
雑収益	0	0	0	0	96,076	96,076	0	0	96,076
経常収益計	58,441,688	47,259,080	6,353,251	3,050,755	51,802,960	166,907,734	12,839,724	0	179,747,458
(2)経常費用									
事業費	80,311,488	55,676,496	29,281,324	7,717,051	559,129	173,545,488	0	0	173,545,488
給料手当	25,973,999	15,584,399	2,597,400	2,597,400	0	46,753,198	0	0	46,753,198
臨時雇賃金	0	1,646,246	25,200	0	0	1,671,446	0	0	1,671,446
退職給付費用	1,712,952	1,027,771	171,295	171,295	0	3,083,313	0	0	3,083,313
福利厚生費	4,252,717	2,551,630	425,272	425,272	0	7,654,891	0	0	7,654,891
会議費	28,540	10,993,057	3,320,582	0	0	14,342,179	0	0	14,342,179
旅費交通費	281,220	3,736,378	5,449,717	42,700	0	9,510,015	0	0	9,510,015
通信運搬費	7,109,874	1,428,054	43,340	57,697	0	8,638,965	0	0	8,638,965
減価償却費	1,363,299	817,979	136,330	136,330	0	2,453,938	0	0	2,453,938
消耗什器備品費	2,451,182	2,673,338	631,903	238,183	0	5,994,606	0	0	5,994,606
消耗品費	61,000	190,172	52,770	16,995	0	320,937	0	0	320,937
修繕費	14,135	8,481	1,414	1,414	0	25,444	0	0	25,444
印刷製本費	28,663,990	3,112,559	26,000	46,000	0	31,848,549	0	0	31,848,549
光熱水料費	309,272	185,563	30,927	30,927	0	556,689	0	0	556,689
賃借料	2,640,000	1,584,000	264,000	264,000	0	4,752,000	0	0	4,752,000
保険料	39,710	23,826	6,921	3,971	0	74,428	0	0	74,428
諸謝金	712,819	2,728,841	330,906	0	0	3,772,566	0	0	3,772,566

科目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	刊行事業	講演会・講習会事業	調査・研究事業	表彰・奨励事業	共通	小計			
送金手数料	1,157,904	1,025,219	118,500	115,790	0	2,417,413	0	0	2,417,413
賞状・賞牌・副賞費	0	227,953	9,993	3,215,189	0	3,453,135	0	0	3,453,135
支払助成金	0	3,500,000	15,000,000	0	0	18,500,000	0	0	18,500,000
支払負担金	0	455,568	284,966	0	0	740,534	0	0	740,534
システム管理費	3,538,875	2,123,325	353,888	353,888	0	6,369,976	0	0	6,369,976
貸倒引当損	0	0	0	0	559,129	559,129	0	0	559,129
雑費	0	52,137	0	0	0	52,137	0	0	52,137
管理費	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**17,656,140**	**0**	**17,656,140**
給料手当	0	0	0	0	0	0	5,194,798	0	5,194,798
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	342,590	0	342,590
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	850,542	0	850,542
会議費	0	0	0	0	0	0	125,459	0	125,459
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	2,234,036	0	2,234,036
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	992,789	0	992,789
減価償却費	0	0	0	0	0	0	272,660	0	272,660
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	476,365	0	476,365
消耗品費	0	0	0	0	0	0	19,930	0	19,930
修繕費	0	0	0	0	0	0	2,826	0	2,826
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	697,525	0	697,525
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	61,854	0	61,854
賃借料	0	0	0	0	0	0	528,000	0	528,000
保険料	0	0	0	0	0	0	7,942	0	7,942
諸謝金	0	0	0	0	0	0	20,046	0	20,046
租税公課	0	0	0	0	0	0	3,091,500	0	3,091,500
送金手数料	0	0	0	0	0	0	231,579	0	231,579
支払負担金	0	0	0	0	0	0	45,000	0	45,000
システム管理費	0	0	0	0	0	0	707,774	0	707,774
委託費	0	0	0	0	0	0	1,606,755	0	1,606,755
貸倒引当損	0	0	0	0	0	0	71,150	0	71,150
雑費	0	0	0	0	0	0	75,020	0	75,020
経常費用計	**80,311,488**	**55,676,496**	**29,281,324**	**7,717,051**	**559,129**	**173,545,488**	**17,656,140**	**0**	**191,201,628**
評価損益等調整前経常増減額	**-21,869,800**	**-8,417,416**	**-22,928,073**	**-4,666,296**	**51,243,831**	**-6,637,754**	**-4,816,416**	**0**	**-11,454,170**
特定資産評価損益等	**0**	**0**	**-3,465,964**	**0**	**0**	**-3,465,964**	**0**	**0**	**-3,465,964**
当期経常増減額	**-21,869,800**	**-8,417,416**	**-26,394,037**	**-4,666,296**	**51,243,831**	**-10,103,718**	**-4,816,416**	**0**	**-14,920,134**

科目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	刊行事業	講演会・講習会事業	調査・研究事業	表彰・奨励事業	共通	小計			
2.経常外増減の部									
(1)経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-21,869,800	-8,417,416	-26,394,037	-4,666,296	51,243,831	-10,103,718	-4,816,416	0	-14,920,134
他会計振替額	21,869,800	8,417,416	22,857,270	4,563,464	-57,707,950	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	-3,536,767	-102,832	-6,464,119	-10,103,718	-4,816,416	0	-14,920,134
一般正味財産期首残高	305,000,000	334,828,272	269,959,118	60,000,000	78,328,278	1,048,115,668	48,084,517	0	1,096,200,185
一般正味財産期末残高	305,000,000	334,828,272	266,422,351	59,897,168	71,864,159	1,038,011,950	43,268,101	0	1,081,280,051
Ⅱ　指定正味財産増減の部									
特定資産受取利息	0	0	0	1,494,832	0	1,494,832	0	0	1,494,832
未経過償還差額金の償却額	0	0	70,803	102,832	0	173,635	0	0	173,635
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	1,494,832	0	1,494,832	0	0	1,494,832
特資産評価損益等	0	0	-3,123,663	-3,710,958		-6,834,621			-6,834,621
当期指定正味財産増減額	50,000	0	-3,052,860	-3,608,126	0	-6,610,986	0	0	-6,610,986
指定正味財産期首残高	128,650,000	0	102,000,000	216,484,686	0	447,134,686	0	0	447,134,686
指定正味財産期末残高	128,700,000	0	98,947,140	212,876,560	0	440,523,700	0	0	440,523,700
Ⅲ　正味財産期末残高	433,700,000	334,828,272	365,369,491	272,773,728	71,864,159	1,478,535,650	43,268,101	0	1,521,803,751

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

（１）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券

時価のあるものは、決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

また、時価のある債券は、償却原価法（定額法）を適用した上で、決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

（２）棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法に基づく原価法を採用している。

（３）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法、リース資産はリース期間定額法による。

（４）引当金の計上基準

貸倒引当金は、過去の実績率に基づき計上している。

退職給付引当金は、学会都合退職の期末要支給額を計上している。

（５）リース取引の処理方法

所有権移転以外のファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を０円とする定額法によっている。

（６）消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式による。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産はない。

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	82,492,734	3,329,632	0	85,822,366
減価償却引当資産	9,918,133	1,913,461	0	11,831,594
刊行事業資金	305,000,000	0	0	305,000,000
刊行事業拡充賛助寄付資金	128,650,000	50,000	0	128,700,000
講演会・講習会事業資金	306,500,000	0	0	306,500,000
国際会議開催準備資金	6,500,000	0	3,500,000	3,000,000
調査・研究事業資金	269,959,118	100,606	7,871,964	262,187,760
調査・研究事業拡充資金	85,000,000	0	0	85,000,000
国際学術交流資金	102,000,000	70,803	3,123,663	98,947,140
表彰・奨励事業資金	50,000,000	0	0	50,000,000
学会賞資金	11,510,000	1,042	45,937	11,465,105
研究技術功労賞資金	7,000,000	4,859	214,369	6,790,490
奨励・奨学賞等資金	54,000,000	34,360	1,515,895	52,518,465
谷川・ハリス賞資金	15,000,000	10,413	459,363	14,551,050
増本量賞資金	35,000,000	24,295	1,071,845	33,952,450
村上賞資金	103,974,686	27,863	403,549	103,599,000
合　計	1,572,504,671	5,567,334	18,206,585	1,559,865,420

注　未経過償還差額の償却額を当期増加額に計上している。

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産はない。

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	85,822,366	－	－	(85,822,366)
減価償却引当資産	11,831,594	－	(11,831,594)	－
刊行事業資金	305,000,000	－	(305,000,000)	－
刊行事業拡充賛助寄付資金	128,700,000	(128,700,000)	－	－
講演会・講習会事業資金	306,500,000	－	(306,500,000)	－
国際会議開催準備資金	3,000,000	－	(3,000,000)	－
調査・研究事業資金	262,187,760	－	(262,187,760)	－
調査・研究事業拡充資金	85,000,000	－	(85,000,000)	－
国際学術交流資金	98,947,140	(98,947,140)	－	－
表彰・奨励事業資金	50,000,000	－	(50,000,000)	－
学会賞資金	11,465,105	(1,465,105)	(10,000,000)	－
研究技術功労賞資金	6,790,490	(6,790,490)	－	－
奨励・奨学賞等資金	52,518,465	(52,518,465)	－	－
谷川・ハリス賞資金	14,551,050	(14,551,050)	－	－
増本量賞資金	33,952,450	(33,952,450)	－	－
村上賞資金	103,599,000	(103,599,000)	－	－
合　計	1,559,865,420	(440,523,700)	(1,033,519,354)	(85,822,366)

４．担保に供している資産

担保に供している資産はない。

５．ファイナンス・リース取引

リース資産の主な内容は、次のとおりである。

複合コピー機１台。

６．保証債務等の偶発債務
保証債務等の偶発債務はない。

７．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　価	評価損益
国債			
※第3回利付国債(30年)	49,987,760	55,849,500	5,861,740
第5回利付国債(30年)	100,000,000	112,236,000	12,236,000
第13回利付国債(30年)	20,000,000	22,447,400	2,447,400
第17回利付国債(30年)	20,000,000	23,321,800	3,321,800
第33回利付国債(30年)	10,000,000	11,112,600	1,112,600
第44回利付国債(30年)	80,000,000	83,232,800	3,232,800
第80回利付国債(20年)	50,000,000	51,309,000	1,309,000
第85回利付国債(20年)	50,000,000	51,968,000	1,968,000
第88回利付国債(20年)	30,000,000	31,462,800	1,462,800
第90回利付国債(20年)	50,000,000	52,569,500	2,569,500
第93回利付国債(20年)	100,000,000	105,492,000	5,492,000
第98回利付国債(20年)	50,000,000	53,288,500	3,288,500
第99回利付国債(20年)	60,000,000	64,159,800	4,159,800
第105回利付国債(20年)	50,000,000	53,972,000	3,972,000
第110回利付国債(20年)	40,000,000	43,464,000	3,464,000
合　計	759,987,760	815,885,700	55,897,940

※帳簿価額は満期までの未経過償還差額を減算して計上している。

８.助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高
助成金の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高は次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金					
学術集会・シンポジウム等開催にかかる助成	北海道科学大学	0	165,477	165,477	0
富山ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ開催助成金	富山ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ	0	132,000	132,000	0
富山市ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ開催事業補助金	富山市	0	3,540,000	3,540,000	0
富山県学会等開催事業補助金	富山県	0	3,040,000	3,040,000	0
合　計		0	6,877,477	6,877,477	0

貸借対照表上の記載区分なし

９．

内　容	金　額
経常収益への振替額	
特定資産受取利息	
村上賞授与による振替額	1,494,832
刊行事業拡充賛助寄付金	
受取寄付金への振替額	0

１０．金融商品に対する取組方針
1.　当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、金融商品により資産運用する。
なお、デリバティブ取引は行わない方針である。
2.金融商品の内容及びそのリスク
金融商品は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。
3. 金融商品に係るリスク管理体制
①資産運用規程に基づく取引
金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。
②信用リスクの管理
金融商品については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

１１．重要な後発事象
重要な後発事象はない。

１２．使途を特定した寄付による公益目的事業の詳細

（単位：円）

		経常収益	経常費用	経常増減	備　考
国際学術交流資金	特定資産運用益	111,883			
	国際学術交流委員会費		4,121,958		
	小　計	111,883	4,121,958	-4,010,075	
学会賞資金	受取入会金	102,000			
	特定資産運用益	211,646			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		715,800		
	小　計	313,646	715,800	-402,154	
研究技能功労賞資金	特定資産運用益	7,678			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		330,650		
	小　計	7,678	330,650	-322,972	

奨励賞・奨学賞等資金	特定資産運用益	54,386			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		372,360		
	小　計	54,386	372,360	-317,974	
谷川・ハリス賞 資金	特定資産運用益	16,454			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		68,400		
	小　計	16,454	68,400	-51,946	
増本量賞資金	特定資産運用益	38,391			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		207,500		
	小　計	38,391	207,500	-169,109	
村上賞資金	特定資産運用益	1,494,832			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		912,500		
	小　計	1,494,832	912,500	582,332	
	合　計	2,037,270	6,729,168	-4,691,898	

１３．刊行事業拡充賛助寄付金の内訳

（単位：円）

寄付金額	件数（法人）	件数（個人）	寄付合計額
100,000円未満	1	0	50,000
合　計	1	0	50,000

寄付金額の分類は、公益社団法人及び公益財団法人の寄付金収入に関する実態調査(内閣府平成25年9月)の分類による。
寄付法人名は、刊行事業拡充賛助寄付規程および閲覧規程に基づいて、本会事務所で閲覧に供している。

計算書類の附属明細書

1．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2及び3に記載している。

2．引当金の明細

（単位：円）

科　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	180,087	157,402	118,838	61,249	157,402
退職給付引当金	82,492,734	3,329,632	0	0	85,822,366

（注）貸倒引当金の当期減少額「その他」は、洗替によるものであります。

3．損益計算書の内容を補足する重要事項

事業費用は個別の公益目的事業毎に管理する必要があることから、損益計算書（正味財産増減計算書）の経常費用の事業費の中科目は個別の公益目的事業の事業費用の科目に変更している。「公益法人会計基準」の運用方針（平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）に定める中科目に係る金額は、正味財産増減計算書内訳表の合計覧に表示している。

財　産　目　録

2024年2月29日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預　金		運転資金として	75,778,652
		本部事業活動資金		57,417,180
	当座預金	七十七銀行芭蕉の辻支店		12,629,353
	普通預金			44,787,827
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　0022636		20,777,539
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　0080425		10,000,000
		七十七銀行　芭蕉の辻支店　0106178		12,661,374
		ゆうちょ銀行　02210		604,526
		ゆうちょ銀行　00130		744,388
		研究会事業活動資金　三菱UFJ銀行　仙台中央支店　0084767		6,880,142
		支部事業活動資金		11,481,330
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　北海道支部		1,904,843
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　東北支部		659,879
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　関東支部		2,662,408
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　東海支部		1,805,148
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　北陸信越支部		332,507
		富山第一銀行　大阪支店　関西支部		1,385,171
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　中国四国支部		2,077,881
		三菱UFJ銀行　仙台中央支店　九州支部		653,493
	未収会費	会員年会費	運転資金として	2,913,164
		正員会費収益		514,166
		学生員会費収益		152,666
		外国会員会費収益		54,666
		維持員会費収益		2,191,666
	未収金	刊行物購読費、広告など	運転資金として	2,333,809
		会報購読費収益		219,718
		会誌購読費収益		401,526
		欧文誌購読費収益		715,310
		単行本収益		429,435
		刊行事業広告収益		567,820
	貸倒引当金	受取会費、刊行物購読費	運転資金として	-157,402
	前払金		運転資金として	440,000
		事務所賃借料		440,000
	棚卸資産		運転資産として	4,869,243
		郵便切手		51,518
		単行本		4,817,725
流動資産合計				86,177,466
(固定資産)				
特定資産				1,559,865,420
	退職給付引当資産		職員7名に対する退職金に備えたもの。	85,822,366
		普通預金　三菱UFJ銀行仙台支店　0084770		55,822,366
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		30,000,000
	減価償却引当資産		固定資産再取得に備えたもので、資産取得資金として、管理してい	11,831,594
		普通預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	11,831,594
	刊行事業資金		公益目的保有財産であり、刊行事業拡充の財源として、	305,000,000
		普通預金　三菱UFJ銀行仙台中央支店	使用している。	5,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		100,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		10,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		50,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		50,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		50,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		40,000,000
	刊行事業拡充賛助寄付資金		公益目的保有財産であり、刊行事業拡充の財源として、	128,700,000
		普通預金　三菱UFJ銀行仙台中央支店	使用している。	128,700,000
	講演会・講習会事業資金		公益目的保有財産であり、講演会・講習会事業の	306,500,000
		普通預金　三菱UFJ銀行仙台中央支店	財源として、使用している。	6,500,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		20,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		80,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		50,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		100,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		50,000,000
	国際会議開催準備資金		公益目的保有財産であり、講演会・講習会事業の財源とし	3,000,000
		普通預金　三菱UFJ銀行仙台中央支店 0022636	財源として、使用している。	3,000,000
	調査・研究事業資金		公益目的保有財産であり、調査・研究事業の	262,187,760
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店	使用している。	49,987,760
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		20,000,000
		利付国債　みずほ証券仙台支店		92,900,000
		利付国債　みずほ証券仙台支店		99,300,000
	調査・研究事業拡充資金		公益目的保有財産であり、調査・研究事業の	85,000,000
		普通預金　三菱UFJ銀行仙台中央支店		85,000,000
	国際学術交流資金		公益目的保有財産であり、調査・研究事業の	98,947,140
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	4,189,140
		利付国債　みずほ証券仙台支店		94,758,000
	表彰・奨励事業資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業の	50,000,000
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店	財源として、使用している。	50,000,000
	学会賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業の	11,465,105
		定期預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	10,000
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店		61,605
		利付国債　みずほ証券仙台支店		1,393,500
		利付国債　三菱UFJMS証券仙台支店		10,000,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	研究技能功労賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	6,790,490
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	287,490
		利付国債　みずほ証券仙台支店		6,503,000
	奨励賞・奨学賞等資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	52,518,465
		定期預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	4,500,000
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店		2,032,965
		利付国債　みずほ証券仙台支店		45,985,500
	谷川・ハリス賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	14,551,050
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	616,050
		利付国債　みずほ証券仙台支店		13,935,000
	増本量賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	33,952,450
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	1,437,450
		利付国債　みずほ証券仙台支店		32,515,000
	村上賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	103,599,000
		定期預金　七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	4,000,000
		当座預金　七十七銀行芭蕉の辻支店		299,000
		利付国債　みずほ証券仙台支店		99,300,000
その他			公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	10,237,366
固定資産	什器備品購入額			2,363,849
	減価償却累計額			−1,503,727
	リース資産（什器備品）			4,665,624
	減価償却累計額			−3,996,840
	ソフトウエア購入額			16,477,560
	減価償却累計額			−10,273,634
	商標権			162,700
	減価償却累計額			−108,466
	電話加入権			50,300
	敷　金			2,400,000
固定資産合計				1,570,102,786
資産合計				1,656,280,252
(流動負債)				
	未払金		法人運営に100%供する。	2,699,853
		団体謝金		18,000
		会計監査報酬（下期分）		324,317
		会計決算書作成報酬		450,450
		2023年度消費税		1,725,700
		2024年2月分郵便料金後納扱い		2,586
		住民税（木更津市・仙台市・多賀城市）		178,800
	前受金		会員年会費は公益目的事業に80%、	39,869,769
		会員年会費	法人運営に20%供する。	35,821,165
		正員受取会費		21,095,833
		学生員受取会費		1,478,666
		外国会員受取会費		913,333
		維持員受取会費		12,333,333
		購読費	購読費は公益目的事業に100%供する。	4,048,604
		会報購読費収益		179,667
		会誌購読費収益		1,372,250
		欧文誌購読費収益		2,496,687
	預り金		法人運営に100%供する。	5,415,729
		源泉所得税<報酬>諸口		2,046
		源泉所得税会計監査報酬（下期分）		33,183
		大会参加費(不課税)	講演会・講習会事業は公益目的事業に100%供する。	4,464,000
		大会参加費(課税)		897,000
		懇親会費		19,500
	リース債務		公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	219,984
		カラー複合コピー機		107,784
		電話設備一式		112,200
流動負債合計				48,205,335
(固定負債)	リース債務		公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	448,800
		電話設備一式		448,800
	退職給付引当金		職員7名に対する退職金の支払いに備えたもの。　公益目的事業に90%、法人運営に10%供する	85,822,366
固定負債合計				86,271,166
負債合計				134,476,501
正味財産				1,521,803,751

2024年4月4日

公益社団法人 日本金属学会
会 長　　榎　学 殿

公益社団法人 日本金属学会

監 事　後藤 光宏

監 事　正橋 直哉

監 査 報 告 書

私たちは2023年3月1日から2024年2月29日までの2023年度における公益社団法人日本金属学会の業務及び財産の状況について法令及び定款に基づき監査を行い次の通り報告する。

1 監事の監査の方法及びその内容

(1) 私たちは、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

(2) 私たちは、会計帳簿並びに関係書類の検査など必要と思われる監査手続を用いて計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)の正確性を検討した。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認める。

(2) 計算書類及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(3) 理事の業務執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

独立監査人の監査報告書

令和６年４月４日

公益社団法人 日本金属学会

代表理事　榎　　学　　殿

古川直磨公認会計士事務所

宮城県仙台市

公認会計士 古川 直磨

＜財務諸表等監査＞

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づく監査に準じて、公益社団法人 日本金属学会の令和５年３月１日から令和６年２月 29 日までの 2023 年度（令和 5 年度）の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインⅠ－５(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、

その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

・　財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

＜財産目録に対する意見＞

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益社団法人 日本金属学会の令和 6 年 2 月 29 日現在の 2023 年度（令和 5 年度）の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上